
平成 23 年版

事業概要



財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 財団法人広島原爆障害対策協議会(略称「広島原対協」)の概況

1 目 的	1
2 事 業	1
3 沿 革	1

II 組 織

1 広島原爆障害対策協議会の組織図	6
2 役 員・評 議 員	6
3 職 員	7

III 施 設

	8
--	---

IV 平成23年度事業計画

1 被爆者の健康管理事業	9
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業	9
3 被爆者の援護福祉事業	10
4 被爆者の健康診断事業	10
5 高齢者医療確保法等による健康診査事業	11
6 広島市健康づくりセンターの管理運営事業	12
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	13
8 その他目的達成に必要な事業	13

V 予 算

1 平成23年度予算	14
2 予算の推移	15

VI 平成22年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	16
ア 被爆者一般・精密検査の実施	16
イ 平成22年度被爆者一般・精密検査実施状況	17
ウ 被爆者がん検診等の実施	23
エ 平成22年度被爆者がん検診等実施状況	24
オ 原爆被爆者二世健康診断の実施	31
(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等	32
ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施	32
イ 平成22年度健康診査等実施状況	33

2	被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1)	調査研究の実施	44
(2)	被爆者健康診断資料の収集整理と活用	44
(3)	文献の収集	44
(4)	第 51 回原子爆弾後障害研究会	44
(5)	検診結果の統計処理	44
3	被爆者の援護福祉事業	
(1)	被爆者相談	45
(2)	被爆者の援護措置	45
(3)	原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営	46
4	健康増進事業	49
5	健康教育事業	52
6	放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7	平成 22 年研究業績	55

VII 資 料

1	年賀寄附金配分金による実施事業	58
2	日本自転車振興会補助金による実施事業	59
3	車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	59
4	広島県補助金による実施事業	60
5	広島市補助金による実施事業	61
6	日本高等学校教職員組合等からの寄付金	62
7	全国から寄せられた寄付金	63
8	核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品	67
9	日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	67
10	職員	68

I 財団法人広島原爆障害対策協議会（略称「広島原対協」）の概況

1 目 的

この法人は、原爆障害の研究及び治療の対策並びに原爆障害者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事 業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆障害者の治療の研究及び原爆被爆生存者の実態調査
- (3) 原爆被爆者の生活相談及び生活援護並びに原爆障害治療に必要な援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの管理の受託
- (5) 原爆被爆者の健康診断その他の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿 革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始した。

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定
昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊

昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃集団検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X 線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X 線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修 その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車 庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X 線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X 線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆 者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X 線透視撮影台及び CR 用光 ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性 骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コールターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、 光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」 の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議 会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X 線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診 断の出張健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安 芸区を除く)を開始
8 月	磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
平成 3 年 3 月	夜間健診を中止
4 月	被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
6 月	第 32 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	X 線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
平成 4 年 4 月	被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始

5月	コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
8月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
10月	国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
11月	老人保健法による大腸がん検診を開始
平成5年4月	被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
6月	第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8月	胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
平成6年4月	事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
5月	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
9月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
平成7年4月	被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
5月	原爆被爆50周年記念特別講演会を開催 第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
6月	内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
8月	CR用X線透視撮影装置を更新整備
10月	市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
平成8年7月	CR用X線透視撮影装置を更新整備
8月	既設MRI装置をバージョンアップ
平成9年4月	市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
6月	第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7月	X線骨密度測定装置を更新整備
8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
平成10年8月	糖尿病予防対策事業を開始 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
10月	C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
平成11年6月	第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9月	DRシステムX線テレビ装置を整備
平成12年9月	超音波診断装置を更新整備
平成13年1月	MRI装置を更新整備
6月	第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
平成14年3月	デジタル超音波診断装置を更新整備
7月	自動血球計算装置を更新整備
8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
平成15年4月	市民のC型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)にB型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
6月	第44回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7月	内視鏡検査システムを更新整備
平成16年1月	乳房X線撮影装置を更新整備 CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
4月	第二次CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備

	8 月	全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
平成 17 年	6 月	第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	8 月	総合健診電算システムを更新整備
	12 月	乳房 X 線撮影装置を整備
	12 月	医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
平成 18 年	3 月	職業補導事業を廃止
	4 月	マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始
		老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
	9 月	デジタル X 線透視撮影装置更新整備
	10 月	被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
	12 月	全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1 号車)
平成 19 年	1 月	X 線骨密度測定装置更新整備
	6 月	第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	7 月	X 線 C T 撮影装置整備
		車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
平成 20 年	5 月	特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
	8 月	超音波診断装置更新整備
	11 月	MRI 装置のアップグレード整備
平成 21 年	2 月	医用画像情報システム更新整備
	3 月	デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
	6 月	第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
平成 22 年	1 月	医用画像情報システムビューワー更新整備
	9 月	超音波画像診断装置更新整備
		全自動電気泳動装置更新整備
平成 23 年	3 月	F P D デジタル X 線透視撮影装置更新整備

1 組織図



(平成23年7月1日現在)

–6–

役 職	氏 名	職 名
理 事	鎌 田 七 男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
理 事	横 山 行 男	医療法人横山胃腸科内科医院長
監 事	日 域 大 陸	医療法人三和会おうち病院長
監 事	高 崎 司 公	広島市都市整備公社監事

財団法人広島原爆障害対策協議会 評議員名簿

(平成23年7月1日現在)

氏 名	職 名
真 田 幸 三	広島県医師会顧問
碓 井 静 照	広島県医師会長(碓井内科胃腸科医院長・高陽ニュータウン病院理事長)
長 崎 孝 太 郎	広島市医師会長(医療法人厚生堂長崎病院理事長)
古 川 義 紀	医療法人社団古川医院長
沢 近 紀 夫	広島市医師会代議員会議長(沢近医院長)
糸 山 隆	広島市健康福祉局長
木 下 吾 朗	広島原爆障害対策協議会事務局長
木 島 丘	広島市議会議長
茶 山 一 彰	広島大学病院長
神 谷 研 二	広島大学原爆放射線医科学研究所長
土 肥 博 雄	広島赤十字・原爆病院長
桑 原 正 雄	県立広島病院長
大 庭 治	広島市民病院長
鎌 田 七 男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
横 山 行 男	医療法人横山胃腸科内科医院長
上 野 祐 之	広島県健康福祉局被爆者支援課長
中 川 日 出 男	日本赤十字社広島県支部事務局長
前 田 泰 則	広島県薬剤師会長
土 江 健 也	広島市歯科医師会長

3 職 員

(平成23年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理センター		健康増進センター		健康科学館			
職種	人員	職種	人員	職種	人員	職種	人員		
事 務 局 長	1	医 師	所 長	1	医 師	所 長	(1)	館 長	1
事 務 職 員	17		部 長	1		常 勤 医 師	1	事 務 職 員	3
事 務 嘱 託	1		常 勤 医 師	4		看 護 師	1	栄 養 士 嘱 託	1
相 談 員	1		非常勤医師	21		栄 養 士	2	看 護 師 嘱 託	1
放 射 線 技 師	1		読 影 委 員	48		運 動 指 導 員	2	事 務 嘱 託	5
自動車運転手	10	看 護 師	18	事 務 職 員	1				
用 務 員	1	検 査 技 師	35						
		放 射 線 技 師	11						
		栄 養 士	1						
		事 務 職 員	18						
		看 護 師 嘱 託	2						
		事 務 嘱 託	4						
小 計	32	小 計	164	小 計	7	小 計	11		
合 計								214	

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本会の三者協力のもとに建設されたものであり、本会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
- 2 敷 地 9,622.67 m²（広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²）
- 3 建 物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ15,916.26 m²

利用区分	面 積
健康管理センター専用	3,179.01 m ²
健康増進センター専用	253.37
事務局専用	1,000.42
健康科学館専用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,749.61
広島市医師会専用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合 計	15,916.26

- 4 事業費 約90億円（広島市約65億円、広島市医師会約25億円）

Ⅳ 平成23年度事業計画

本協議会は、国・県・市の指導と協力を得て、広島市医師会及び医師会員並びに原爆関係諸機関との密接な連携のもとに、平成23年度も引続き、被爆者の健康管理事業、被爆者の健康管理に関する調査研究事業及び被爆者の援護福祉事業を推進するほか、広島市からの委託による健康診査、がん検診等の事業を実施するとともに、指定管理者の指定を受けた健康増進事業、健康教育事業等の管理運営を行う。

また、新公益法人制度に的確に対応すべく、平成23年中に公益認定申請を行い、平成24年度における公益財団法人への移行を図る。

1 被爆者の健康管理事業

(1) 健康管理の推進

被爆者ががん検診を積極的に推進するとともに、被爆者の高齢化に伴う諸状況を考慮し、特に次の事項に重点をおいた取組みを行う。

ア 悪性新生物の早期発見

胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の早期発見に努め、広島大学大学院医歯薬学総合研究科、同原爆放射線医科学研究所、(財)放射線影響研究所等の協力を得て、積極的にこれらの検索を実施する。

イ 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧・虚血性心疾患等の生活習慣病の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行う。

(2) 健康診断医療機器等の整備

ア 電子内視鏡システムを更新整備する。

イ 超音波画像診断装置を更新整備する。

イ FPDデジタルX線装置を更新整備する。

ウ 医用画像情報システムビューアーを更新整備する。

オ 肺がん検診読影判定システムを整備する。

(3) 被爆者健康管理資料の整備

ア 受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図所見等)を分類整理し、レントゲンフィルムは医用画像情報システムに、心電図はハードディスクや光ディスクへ収録して保存する。

イ これら健康診断の実績、結果等の諸統計を作成するとともに、ハードディスク、光ディスクや磁気テープとして保管し、関係諸機関の協力を得て調査研究資料の管理体制を整える。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の継続実施

継続して下記の調査研究を行い、その成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

ア 「被爆者ががん検診の意義に関する研究」

本協議会での被爆者ががん検診において新たに発見されるがん患者の著しい増加という成果を踏まえ、がん検診の意義・より効率的な検診のあり方・精度管理について、広島大学原爆放射

線医科学研究所の疫学部門との協力、広島県腫瘍登録データの活用等により調査・研究を行う。
イ「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科と同原爆放射線医科学研究所及び(財)放射線影響研究所との共同研究によって被曝線量の推定を行うとともに、各種のがん発生率と被曝の関連を検討する。

ウ「被爆者の糖代謝に関する研究」

被爆者における糖代謝について検討し、糖尿病発症の予防の方策を検討する。

エ「肺がんに関する研究」

被爆者について肺がんの発生状況を調査研究し、予防に資する。

オ「加齢に関する研究」

虚血性心疾患、脳血管障害、骨粗鬆症、変性性神経疾患、心理学的異常等の加齢関連疾患や病態について検討するとともに、各種の関連要因(血圧・コレステロール・喫煙・栄養状況等)や被曝状況との関連を検討する。

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集、整理保管し、その活用を図る。

(3) 原子爆弾後障害研究会の開催

6月5日、第52回原子爆弾後障害研究会を八丁堀シャンテにおいて開催する。

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の生活、健康及び医療についての相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援助を行う。

(2) 援護措置の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて、被爆者の福祉増進を図る。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ア 生活困窮者に対する援護金支給 | イ 有福温泉療養者に対する交通費補助 |
| ウ 被爆身体障害者等に対する見舞金支給 | エ 福祉用具貸与・購入費利用補助 |
| オ その他必要と認める経費の一部補助 | |

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

原爆被爆者有福温泉療養研究所は、同運営協議会(会長 江津市長)に運営を委託し、必要な支援を行うことにより、被爆者の福祉増進を図る。

特に、被爆者の高齢化等による利用者の減少に伴い、利用料収入での運営が困難となってきたため、引き続き所要の運営費補助を行う。

4 被爆者の健康診断事業

(1) 健康診断の実施

被爆者の高齢化が進むなか、健康管理の一層の充実を期するため、健康診断体制の整備充実に努めるとともに、実施に当っては、関係当局と連携のうえ受診率の向上を図る。

ア 被爆者が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を総合的に検討し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 広島市健康づくりセンターでの健診がスムーズに行われるように、1 階健診フロアのリニューアル工事を実施することとし、主に手狭になっている婦人科検診スペースの改修を行い、婦人科検診の充実を図る。

ウ 被爆者の受診機会を多くするため、土曜・日曜健診を引き続き実施するとともに、第3日曜健診に乳がん・子宮がん検診を追加し、受診サービスの向上に努める。

エ 被爆者健康診断の受診を促進するため、関係当局と連携して各種広報による啓発活動を積極的に行う。

オ 被爆者二世健康診断を実施するとともに、その受診率向上に努める。

カ 実施目標	一般検査	23,500 件	精密検査	24,500 件
	胃がん検診	4,000 件	肺がん検診	11,000 件
	子宮がん検診	2,300 件	乳がん検診	2,800 件
	多発性骨髄腫検診	15,400 件	大腸がん検診	9,500 件
	骨粗鬆症検診	5,300 件		

5 高齢者医療確保法等による健康診査事業

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

高齢者医療確保法に基づく特定健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

また、健診結果から生活習慣病のリスクに応じて階層化し、特定保健指導を実施するなど、広島市の主体的取組みに連携して、受診者のニーズに合った健診及び保健指導を行い、受診率の向上を図る。

実施目標(広島市国保)

特定健康診査	14,000 件
特定保健指導(積極的支援)	50 件

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

健康増進法に基づく種々のがん検診等を、広島市健康づくりセンター及び出張検診会場において実施し、広島市の主体的取組みに連携して、市民の健康保持に努める。

実施目標	胃がん検診	20,000 件	肺がん検診	22,000 件
	子宮がん検診	10,000 件	乳がん検診	11,000 件
	大腸がん検診	12,100 件	肝炎ウィルス検査	200 件
	骨粗鬆症検診	1,800 件		

(3) 感染症予防法に基づく結核健康診断の実施

感染症予防法に基づく結核健康診断を、広島市の主体的取組みに連携して、健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、健診による市民の健康管理の推進を図る。

実施目標 13,500 件

(4) 後期高齢者に対する健康診査の実施

75 歳以上の後期高齢者に対する健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場にお

実施目標 3,100 件

受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図等)を整理し、保管する。また、カルテ保存システムによりカルテを記録・保存し、将来の活用に備える。

(1) 広島市から指定管理者の指定を受けて、広島市健康づくりセンターの施設の維持管理を行う。

医学的検査に加え、運動負荷テスト、体力測定、栄養調査を実施し、その結果に基づく運動指導や栄養指導を行うことにより、市民の健康の維持・増進を助長する。また、スポーツ選手のメディカルチェックを実施し、広島市スポーツ協会等と連携を図りながら、競技力向上に資する。

実施目標	基本コース	886 件（うちスポーツ選手のメディカルチェック 100 件）
	精密コース	1,844 件

市民の健康に対する関心の高まり、多様化するニーズに対応できるよう、健康に関する最新情報をわかりやすく正確に提供するとともに、積極的に教育研修等を実施し、日常における健康管理についての正しい知識の普及を図る。

(ア) 企画展開催 年 4 回
(イ) パネル展 年 12 回

(イ) 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
(イ) インターネットによる健康情報の提供

(ア) 主催による研修会・イベント	年 46 回
(イ) パパママ育児スクール	年 34 回
(ウ) 他の関係機関との共催による研修会	年 25 回

(ア) ボランティア養成講座(6 課程)	年 6 回
(イ) ボランティア育成講座	年 2 回
(ウ) ボランティアの活動	年 430 回

会員同士の子育てに関する相互援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担

感の緩和や地域の子育て支援の充実を図る。

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝治療に役立てるために、「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、外国からの研修生の受け入れなど、事業の推進に協力する。

(2) 来日被爆者の健康診断・医療相談等の実施

国外に居住する被爆者が来日の際、健康診断及び医療相談を実施するとともに、被爆者手帳の取得に必要な手続きの相談にも応じるなど、引き続き在外被爆者への支援を行う。

8 その他目的達成に必要な事業

(1) 被爆者又は市民の健診の結果、悪性疾患等が疑われた場合、確定診断や病期判定のために詳細な検査（ＣＴ・ＭＲＩ・内視鏡検査・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進める。

(2) 広島市医師会との協力のもと、事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、事業所健診、生活習慣病予防健診等の健診を行うとともに、広島市医師会との連携により、医師会員からの依頼によるＣＴ・ＭＲＩ検査等の検査を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進する。

V 予 算

1 平成23年度予算

収 支 予 算 総 括 表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一 般 会 計	健 康 管 理 センター会計	被爆者援護 福祉事業会計	健 康 増 進・ 教育事業会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入	1					1
特定資産運用収入	124	2,050				2,174
被爆者健康診断収入		575,740				575,740
健康増進法検診収入		315,470				315,470
特定健診・保健指導収入		140,060				140,060
結核住民健康診断収入		23,230				23,230
健康増進収入		10,087				10,087
受託収入				155,710		155,710
利用料収入				3,426		3,426
診療収入		222,000				222,000
その他健診等収入		124,078				124,078
寄附金収入	1,000					1,000
雑収入	185	131				316
他会計からの繰入金収入	231,030		26,451		△ 257,481	0
事業活動収入計	232,340	1,412,846	26,451	159,136	△ 257,481	1,573,292
2. 事業活動支出						
生活相談費支出	4,564					4,564
資料統計費支出	22,417					22,417
健康診断費支出		1,221,055				1,221,055
調査研究費支出	266	4,000				4,266
後障害研究会開催費支出	3,487					3,487
原爆被爆者対策費支出			26,451			26,451
健康増進費支出				75,540		75,540
健康教育費支出				68,211		68,211
ファミリーサポート・つどいの広場費支出				15,385		15,385
管理費支出	181,704	49,726				231,430
他会計への繰入金支出	26,451	231,030			△ 257,481	0
事業活動支出計	238,889	1,505,811	26,451	159,136	△ 257,481	1,672,806
事業活動収支差額	△ 6,549	△ 92,965	0	0	0	△ 99,514
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入	10,814	231,189				242,003
固定資産売却収入		2				2
投資活動収入計	10,814	231,191	0	0	0	242,005
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出	1,001	2				1,003
固定資産取得支出	264	188,031				188,295
投資活動支出計	1,265	188,033	0	0	0	189,298
投資活動収支差額	9,549	43,158	0	0	0	52,707
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出						
リース債務支出		693				693
財務活動支出計	0	693	0	0	0	693
財務活動収支差額	0	△ 693	0	0	0	△ 693
IV 予備費支出	3,000	20,000				23,000
当期収支差額	0	△ 70,500	0	0	0	△ 70,500
前期繰越収支差額	0	70,500	0	0	0	70,500
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0

2 予算の推移（当初）

（単位：千円）

区分 年度	一般会計	健康管理 センター 会計	援護福祉 事業会計	健康増進・ 教育事業 会計	医療施設 機器整備 事業会計	有福祉施設 整備事業 会計	調査研究 事業会計
昭和 59	163,860	595,880	6,530	—	42,920	—	3,200
60	183,270	667,760	6,550	—	—	13,680	3,900
61	189,660	642,570	6,660	—	76,000	—	3,080
62	206,350	700,480	6,840	—	—	24,220	3,600
63	200,290	900,210	6,920	—	156,000	—	2,500
平成元	258,150	1,113,540	7,130	* 31,860	74,480	—	—
2	232,660	1,102,730	7,250	219,378	83,430	—	—
3	231,380	1,225,446	7,300	228,813	29,272	—	—
4	234,820	1,304,000	7,460	226,514	78,000	48,320	—
5	251,145	1,426,009	7,460	237,346	65,000	—	—
6	254,296	1,457,601	5,490	242,379	134,000	—	—
7	264,258	1,501,111	5,490	236,133	70,000	—	—
8	261,339	1,539,630	5,620	239,130	92,000	—	—
9	270,202	1,616,905	5,720	258,077	66,675	39,000	—
10	269,301	1,627,854	5,720	230,521	73,500	23,434	—
11	261,547	1,706,081	5,720	225,093	32,550	—	—
12	240,920	1,676,652	5,720	220,517	144,375	—	—
13	247,573	1,583,371	5,720	215,629	16,485	—	—
14	264,800	1,620,476	5,440	211,857	21,315	18,568	—
15	266,107	1,631,841	5,440	207,251	—	—	—
16	258,937	1,717,673	4,900	199,281	33,180	—	—
17	263,298	1,733,638	3,231	196,592	—	—	—
18	246,631	1,730,971	2,951	197,399	34,755	—	—
19	231,865	1,857,955	2,921	197,399	—	17,115	—
20	237,238	1,832,780	17,270	197,399	13,000	—	—
21	234,138	1,706,063	14,905	200,849	—	—	—
22	349,790	1,804,767	20,363	153,838	—	—	—
23	243,154	1,714,537	26,451	159,136	—	—	—

* 健康増進準備事務会計

Ⅵ 平成22年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

ア 被爆者一般・精密検査の実施

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。この健康診断は、広島市総合健康センター及び市内の各集会所、公民館等を会場とする出張健診会場(2カ所)の3会場で実施しており、そのために健康診断班を3班(1班約14名一医師を含む)編成している。

また、広島市総合健康センターで毎月第1・第3日曜日の日曜健診を実施しているほか、年間10回日曜出張健診も実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況 (人, %)

年度	一般検査		精密検査 実施件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ実施件数
	実施件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	104.5*	110,420
* 8	52,175	52,541	54,967*	104.6*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047

* 手帳更新年度

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ当所で実施した人数を含んでいるためである。

イ 平成 22 年度被爆者一般・精密検査実施状況

平成 22 年度の一般検査の受診者数は 25,619 人、精密検査の受診者は 27,428 人であった。
詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 1 年間の当施設及び延 480 回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表 2 a・b のとおり、男性 11,324 人、女性 14,295 人、計 25,619 人で、前年度との比較では 1,798 人の減少(男性 554 人、女性 1,244 人)である。年齢構成は、男性、女性とも 70 歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性 74.3±6.5 歳、女性 75.4±7.2 歳、全体では 74.9±6.9 歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は 9,418 人(36.8%)、出張健診会場は 16,201 人(63.2%)であり、前年度に比し、施設健診は 466 人の減少、出張健診は 1,332 人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表 2 c に示すように、受診率は安芸区が 22.0%と最も高く、ついで安佐北区 15.5%、佐伯区 14.6%であり、全体では 12.5%である。

表 2 原爆 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
63～69	3,457	30.5	4,038	28.2	7,495	29.3
70～79	5,046	44.6	5,633	39.4	10,679	41.7
80～100	2,821	24.9	4,624	32.3	7,445	29.1
計	11,324	100.0	14,295	100.0	25,619	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日、人)

区 分	平成22年度(A)		平成21年度(B)		比較増減(A)－(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	316	9,418	313	9,884	3	△ 466
出張健診	480	16,201	480	17,533	0	△ 1,332
計	796	25,619	793	27,417	3	△ 1,798

c 出張健診区別実施状況

(単位：日、人、%)

区 分	平成22年度(A)				平成21年度(B)				比較増減(A)－(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中 区	36	12,477	914	7.3	36	12,797	982	7.7	0	△ 320	△ 68
南 区	74	18,976	2,167	11.4	74	19,641	2,377	12.1	0	△ 665	△ 210
西 区	77	24,308	2,339	9.6	77	24,675	2,487	10.1	0	△ 367	△ 148
東 区	59	14,282	1,842	12.9	59	14,363	1,982	13.8	0	△ 81	△ 140
安 芸 区	29	6,154	1,353	22.0	29	6,266	1,479	23.6	0	△ 112	△ 126
安 佐 南 区	69	22,458	2,935	13.1	69	23,262	3,135	13.5	0	△ 804	△ 200
安 佐 北 区	67	16,872	2,619	15.5	67	16,993	2,908	17.1	0	△ 121	△ 289
佐 伯 区	69	13,924	2,029	14.6	69	13,874	2,183	15.7	0	50	△ 154
計	480	129,451	16,198	12.5	480	131,871	17,533	13.3	0	△ 2,420	△ 1,335

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
63～69	3,457	3,456	99.97	4,038	4,038	100.00	7,495	7,494	99.99
70～79	5,046	5,046	100.00	5,633	5,632	99.98	10,679	10,678	99.99
80～100	2,821	2,821	100.00	4,624	4,623	99.98	7,445	7,444	99.99
計	11,324	11,323	99.99	14,295	14,293	99.99	25,619	25,616	99.99

(イ) 精密検査

平成 22 年度の精密検査受診者延数は表 3 a のとおり、男性 12,299 人、女性 15,129 人、計 27,428 人であり、前年度に比し男性は 439 人の減少、女性は 1,057 人の減少、全体では 1,496 人減少している。年齢別には一般検査と同様に男性、女性とも 70 歳代にピークがある。

要精検者に対する精検受診率は表 3 b に示すように、男性 108.6%、女性 105.8%、計 107.1%といずれも 100%以上である。これは一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみを当所で実施した人数を含んでいるためである。

一般検査受診者に対する精検受診率は表 3 c に示すように、男性 108.6%、女性 105.8%、計 107.1%である。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表 3 d に示すように、リウマチ検査が最も多く、ついで、血糖検査、肝機能検査、白血球分類、心電図検査、Free T4 の順である。

精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要なものを要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要なものを要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表 3 e・f である。要治療者については男女とも高血圧が最も多く、ついで男性では糖尿病、高コレステロール血症の順、女性では高コレステロール、糖尿病の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、高コレステロール血症、貧血の順に多くみられ、女性では、高血糖、血尿、高コレステロール血症の順である。

平成 22 年度に新たに発見された悪性新生物症例は表 3 g に示すとおり全体で 89 例あり、このうち最も多いのは肺癌 21 例、ついで胃癌 15 例、多発性骨髄腫 13 例、大腸癌 12 例、乳癌 11 例、甲状腺癌 7 例である。被爆状況別には表 3 h に示すように、2.0 km 以内の直接被爆者が 21 例、2.1 km 以上の直接被爆者が 27 例、入市・他が 41 例である。

表 3 原爆 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
63～69	3,880	31.5	4,388	29.0	8,268	30.1
70～79	5,553	45.2	6,075	40.2	11,628	42.4
80～100	2,866	23.3	4,666	30.8	7,532	27.5
計	12,299	100.0	15,129	100.0	27,428	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人，％)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
63～69	3,456	3,880	112.3	4,038	4,388	108.7	7,494	8,268	110.3
70～79	5,046	5,553	110.0	5,632	6,075	107.9	10,678	11,628	108.9
80～100	2,821	2,866	101.6	4,623	4,666	100.9	7,444	7,532	101.2
計	11,323	12,299	108.6	14,293	15,129	105.8	25,616	27,428	107.1

c 一般検査受診者に対する精密検査受診率

(単位：人，％)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
63～69	3,457	3,880	112.2	4,038	4,388	108.7	7,495	8,268	110.3
70～79	5,046	5,553	110.0	5,633	6,075	107.8	10,679	11,628	108.9
80～100	2,821	2,866	101.6	4,624	4,666	100.9	7,445	7,532	101.2
計	11,324	12,299	108.6	14,295	15,129	105.8	25,619	27,428	107.1

d 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施数	検査項目	実施数
肝 機 能 検 査	23,560	M R I	371
血 糖 検 査	23,567	C T	694
貧 血 検 査	3,180	胃 内 視 鏡 検 査	718
リウマチ (RF) 検 査	23,654	大 腸 内 視 鏡 検 査	204
ブドウ糖負荷試験	1,609	眼 底 検 査	1,865
F r e e T 3	797	腹 部 超 音 波 検 査	464
F r e e T 4	9,321	心 臓 超 音 波 検 査	469
抗 甲 状 腺 抗 体	733	甲 状 腺 超 音 波 検 査	474
免 疫 グ ロ ブ リ ン	618	頸 動 脈 超 音 波 検 査	867
白 血 球 分 類	22,290	心 電 図	13,431
尿 沈 査	1,799	ト レ ッ ド ミ ル 検 査	34
細 胞 診 検 査	30	ス パ イ ロ メ ト リ ー 検 査	15
胸部レントゲン検査	2,244	C A V I	2,515
乳 房 撮 影	2,686	体 脂 肪 率	1,826
骨 塩 定 量	560		

e 要治療者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病 名	男 性		女 性		計	
			%		%		%
感 染 症	そ の 他	1	0.01	4	0.03	5	0.02
悪 性 新 生 物	胃 癌	40	3.98	15	1.65	55	2.68
	肺 癌	42		22		64	
	多 発 性 骨 髄 腫	59		55		114	
	結 腸 ・ 直 腸 癌	28		13		41	
	乳 癌	0		37		37	
	前 立 腺 癌	166		0		166	
	膀 胱 癌	30		11		41	
	甲 状 腺 癌	9		36		45	
	食 道 癌	7		1		8	
	そ の 他	70		46		116	
良 性 新 生 物	そ の 他	12	0.11	15	0.10	27	0.11
内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患	糖 尿 病	1,953	42.14	1,314	46.92	3,267	44.80
	甲 状 腺 腫	11		36		47	
	甲 状 腺 機 能 低 下 症	161		463		624	
	甲 状 腺 機 能 亢 進 症	8		45		53	
	高コレステロール血症	1,602		3,861		5,463	
	高 脂 血 症	224		127		351	
	痛 風	582		116		698	
	そ の 他	230		744		974	
血 液 疾 患	貧 血	286	3.07	390	3.12	676	3.10
	そ の 他	62		56		118	
精 神 障 害 ・ 神 経 感 覚 器 疾 患	パ ー キ ン ソ ン	30	1.95	19	1.53	49	1.72
	白 内 障	112		115		227	
	そ の 他	79		85		164	
循 環 器 疾 患	高 血 圧	4,547	53.03	5,344	45.38	9,891	48.76
	高 血 圧 性 心 疾 患	2		2		4	
	虚 血 性 心 疾 患	672		522		1,194	
	そ の 他 の 心 疾 患	618		511		1,129	
	脳 血 管 障 害	111		77		188	
	その他の循環器疾患	55		30		85	
呼 吸 器 疾 患	肺 炎	7	2.22	4	1.37	11	1.75
	慢 性 気 管 支 炎	10		7		17	
	喘 息	87		146		233	
	肺 気 腫	66		6		72	
	肺 線 維 症	15		3		18	
	そ の 他	66		30		96	
消 化 器 疾 患	胃 潰 瘍	26	8.88	15	4.91	41	6.67
	十 二 指 腸 潰 瘍	5		1		6	
	肝 機 能 障 害	926		620		1,546	
	そ の 他	49		66		115	
泌 尿 ・ 生 殖 器 疾 患	腎 炎	377	15.13	183	3.06	560	8.40
	腎 不 全	127		39		166	
	腎 機 能 低 下 症	27		45		72	
	尿 路 感 染 症	37		55		92	
	そ の 他	1,145		116		1,261	
皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾 患	リウマチ様関節炎	128	2.53	202	8.47	330	5.84
	骨 粗 鬆 症	115		943		1,058	
	そ の 他	43		65		108	
そ の 他	そ の 他	471	4.16	479	3.35	950	3.71
総被検者数		11,323		14,293		25,616	

f 要経過観察者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病 名	男 性		女 性		計	
			%		%		%
感 染 症	陳 旧 性 肺 結 核 そ の 他	5 1	0.05	1 5	0.04	6 6	0.05
新 生 物	多 発 性 骨 髄 腫 その他の悪性新生物 胃 ポ リ ー プ その他の良性新生物	0 42 45 80	1.47	2 27 37 92	1.11	2 69 82 172	1.27
内 分 泌・代 謝 疾	耐 糖 能 低 下 甲 状 腺 腫 その他の内分泌疾患 高コレステロール血症 高 脂 血 症 そ の 他 の 代 謝 疾 患	511 46 99 1,290 412 174	22.36	400 149 234 2,321 264 121	24.41	911 195 333 3,611 676 295	23.50
血 液 疾 患	貧 血 そ の 他	933 108	9.19	591 83	4.72	1,524 191	6.70
精 神 障 害・ 神経感覚器疾患	精 神 障 害 神 経 感 覚 器 疾 患	3	0.03	0	0.00	3	0.01
循 環 器 疾 患	高 血 圧 高血圧性心疾患 虚 血 性 心 疾 患 そ の 他 の 心 疾 患 脳 血 管 障 害 その他の循環器疾患	273 1 8 265 49 366	8.50	240 0 7 182 35 301	5.35	513 1 15 447 84 667	6.74
呼 吸 器 疾 患	喘 息 肺 気 腫 肺 線 維 症 そ の 他	1 41 19 169	2.03	1 2 5 142	1.05	2 43 24 311	1.48
消 化 器 疾 患	胃 炎 肝 機 能 障 害 そ の 他	169 611 152	8.23	100 417 105	4.35	269 1,028 257	6.07
泌 尿・生 殖 器 疾	腎 炎 そ の 他	147 745	7.88	40 854	6.25	187 1,599	6.97
皮 膚・筋 骨 格 系 疾	皮 膚 疾 患 リウマチ様関節炎 骨 粗 鬆 症 その他の骨関節疾患	0 43 255 9	2.71	1 39 743 7	5.53	1 82 998 16	4.28
そ の 他	血 尿 蛋 白 尿 高 血 糖 尿 糖 そ の 他	693 545 3,170 99 3,953	74.72	2,557 367 3,249 28 5,118	79.19	3,250 912 6,419 127 9,071	77.21
総被検者数		11,323		14,293		25,616	

g 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	被爆状況	病 名
1	64	M	4.1km	胃 癌 (早 期)
2	64	M	2.5km	胃 癌 (早 期)
3	68	M	3.0km	胃 癌 (早 期)
4	92	M	入市	胃 癌 (早 期)
5	75	F	1.5km	胃 癌 (早 期)
6	66	F	2.5km	胃 癌 (早 期)
7	69	M	入市	胃 癌 (進 行)
8	68	M	1.8km	胃 癌 (進 行)
9	74	M	3号	胃 癌
10	71	M	1.2km	胃 癌
11	73	M	2.8km	胃 癌
12	68	M	2.7km	胃 癌
13	78	M	3号	胃 癌
14	75	M	3号	胃 癌
15	73	M	4.1km	胃 癌
16	66	M	入市	肺 癌
17	67	M	3号	肺 癌
18	81	M	3.0km	肺 癌
19	81	M	2.0km	肺 癌
20	76	M	入市	肺 癌
21	77	F	3号	肺 癌
22	75	M	3号	肺 癌
23	64	M	4号	肺 癌
24	65	M	4号	肺 癌
25	69	M	入市	肺 癌
26	70	F	4.1km	肺 癌
27	69	F	入市	肺 癌
28	84	F	1.5km	肺 癌
29	79	F	4.1km	肺 癌
30	90	F	入市	肺 癌
31	65	F	2.0km	肺 癌
32	79	F	入市	肺 癌
33	81	F	1.7km	肺 癌
34	71	F	1.2km	肺 癌
35	81	F	1.6km	肺 癌
36	79	F	入市	肺 癌
37	70	F	入市	大 腸 癌
38	65	F	2.2km	結 腸 癌
39	76	M	入市	結 腸 癌
40	68	M	2.3km	結 腸 癌 (早 期)
41	76	M	4.0km	結 腸 癌 (早 期)
42	74	F	2.2km	結 腸 癌 (早 期)
43	78	M	3号	大 腸 癌 (早 期)
44	75	M	4.0km	直 腸 癌 (早 期)
45	71	F	2.2km	直 腸 癌 (進 行)

No.	年齢	性別	被爆状況	病 名
46	86	F	入市	結 腸 癌 (進 行)
47	79	F	2.5km	大 腸 癌 (進 行)
48	72	F	4.1km	大 腸 癌 (進 行)
49	78	M	2.0km	多 発 性 骨 髄 腫
50	66	M	1.5km	多 発 性 骨 髄 腫
51	70	M	1.7km	多 発 性 骨 髄 腫
52	83	M	4.0km	多 発 性 骨 髄 腫
53	65	M	入市	多 発 性 骨 髄 腫
54	65	F	1.6km	多 発 性 骨 髄 腫
55	78	F	4.0km	多 発 性 骨 髄 腫
56	75	F	2.3km	多 発 性 骨 髄 腫
57	66	F	3号	多 発 性 骨 髄 腫
58	80	F	3号	多 発 性 骨 髄 腫
59	73	F	3号	多 発 性 骨 髄 腫
60	74	F	3号	多 発 性 骨 髄 腫
61	81	F	3号	多 発 性 骨 髄 腫
62	75	F	入市	乳 癌
63	69	F	1.3km	乳 癌
64	65	F	入市	乳 癌
65	82	F	入市	乳 癌
66	69	F	1.7Km	乳 癌
67	68	F	3号	乳 癌
68	66	F	2.7km	乳 癌
69	65	F	4号	乳 癌
70	85	F	1.6km	乳 癌
71	78	F	3号	乳 癌
72	67	F	入市	乳 癌
73	73	F	2.5km	子 宮 体 癌
74	80	M	2.0km	食 道 癌
75	70	F	入市	甲 状 腺 癌
76	70	F	4.0km	甲 状 腺 癌
77	69	F	3号	甲 状 腺 癌
78	68	F	3.3km	甲 状 腺 癌
79	64	F	4号	甲 状 腺 癌
80	79	F	1.0km	甲 状 腺 癌
81	76	F	1.8km	甲 状 腺 癌
82	67	M	入市	膀 胱 癌
83	82	M	入市	膀 胱 癌
84	67	M	3.2km	膀 胱 癌
85	72	M	入市	前 立 腺 癌
86	65	M	4号	前 立 腺 癌
87	70	M	1.7km	前 立 腺 癌
88	84	F	3.0km	悪性腫瘍脊椎転移癌
89	85	M	1.5km	肛 門 癌

h 被爆状況にみた悪性新生物

性	被爆状況	肺 癌		大腸癌		胃 癌		多発性骨髄腫		その他の癌		合 計	
			%		%		%		%		%		%
男 性	2.0km以内	1	11.1	0	0.0	2	15.4	3	60.0	3	37.5	9	22.5
	2.1km以上	1	11.1	3	60.0	6	46.2	1	20.0	1	12.5	12	30.0
	入市・他	7	77.8	2	40.0	5	38.5	1	20.0	4	50.0	19	47.5
	計	9	100.0	5	100.0	13	100.0	5	100.0	8	100.0	40	100.0
女 性	2.0km以内	5	41.7	0	0.0	1	50.0	1	12.5	5	25.0	12	24.5
	2.1km以上	2	16.7	5	71.4	1	50.0	2	25.0	5	25.0	15	30.6
	入市・他	5	41.7	2	28.6	0	0.0	5	62.5	10	50.0	22	44.9
	計	12	100.0	7	100.0	2	100.0	8	100.0	20	100.0	49	100.0
計	2.0km以内	6	28.6	0	0.0	3	20.0	4	30.8	8	28.6	21	23.6
	2.1km以上	3	14.3	8	66.7	7	46.7	3	23.1	6	21.4	27	30.3
	入市・他	12	57.1	4	33.3	5	33.3	6	46.2	14	50.0	41	46.1
	計	21	100.0	12	100.0	15	100.0	13	100.0	28	100.0	89	100.0

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度からは、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

また、平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度からは広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

なお、平成18年度からは、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

被爆者がん検診の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5のとおりである。

表4 被爆者がん検診の推移

検診会場 検診	施設検診	出張検診		
		中区・南区・西 区・東区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～	平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診				
乳がん検診				
子宮がん検診				
多発性骨髄腫検診		昭和63年8月～		
大腸がん検診	平成4年10月～	平成4年10月～		
骨粗鬆症検診	平成7年4月～			

表 5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診
昭和 54	2,165						
55	4,388						
56	2,843						
57	4,979						
58	5,446						
59	5,079						
60	5,142						
61	5,024						
62	4,973	201					
63	5,255	6,442	961	897	40,027		
平成元	3,848	8,052	809	751	43,045		
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060		
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018	
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535	
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306	
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812	
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診及び平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として広島市の委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県、広島市及び島根県、大阪府、山口県、東京都の委託を受けて実施したものである。

エ 平成 22 年度被爆者がん検診等実施状況

平成 22 年度の被爆者がん検診等実施状況の詳細は以下のとおりである。

(7) 胃がん検診

胃がん検診における受診者は表 6 a のとおり、男性 2,465 人、女性 2,049 人、計 4,514 人であり、要精検率はそれぞれ 9.3%、6.1%、7.8%、精検実施率はそれぞれ 97.4%、99.2%、98.0%である。要精検率は女性に比し男性はやや高率であり、年齢別には、一定の傾向は見られなかった。精検実施者における精検結果は表 6 b に示すように、有所見率は男性 8.56%、女性 5.56%、全体では 7.20%であり、男性が女性に比し高率である。所見の内訳では、胃炎が 3.61%と最も高率で、ついで、胃ポリープ 1.77%、胃潰瘍 1.02%の順である。

今年度新たに発見された癌症例は、表 6 c に示すとおりである。胃癌症例は、男性では 12 例(0.49%)、女性は 0 例(0.00%)、計 12 例(0.27%)で、推定発見率はそれぞれ 0.50%、0.00%、0.27%で男性に高率である。被爆状況別の胃癌発見率は、近距離被爆群のほうが高い傾向にあった。

表6 原爆 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

（単位：人）															
年 齢 （歳）	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		%	%	%	%		%	%	%	%					
～69	982	94	9.6	91	96.8	795	33	4.2	33	100.0	1,777	127	7.1	124	97.6
70～79	1,069	94	8.8	92	97.9	871	59	6.8	58	98.3	1,940	153	7.9	150	98.0
80～95	414	41	9.9	40	97.6	383	32	8.4	32	100.0	797	73	9.2	72	98.6
計	2,465	229	9.3	223	97.4	2,049	124	6.1	123	99.2	4,514	353	7.8	346	98.0

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見												有所見者数	
		がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃炎		その他		正常	
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			% ¹
男 性	64～69	6	0.61	13	1.32	15	1.53	6	0.61	48	4.89	21	2.14	6	85
	70～79	3	0.28	17	1.59	22	2.06	4	0.37	47	4.40	39	3.65	4	88
	80～84	3	0.72	4	0.97	6	1.45	5	1.21	13	3.14	16	3.86	2	38
	計	12	0.49	34	1.38	43	1.74	15	0.61	108	4.38	76	3.08	12	211
女 性	64～69	0	0.00	1	0.13	11	1.38	2	0.25	15	1.89	7	0.88	4	29
	70～79	0	0.00	8	0.92	16	1.84	1	0.11	28	3.21	14	1.61	1	57
	80～88	0	0.00	3	0.78	10	2.61	0	0.00	12	3.13	11	2.87	4	28
	計	0	0.00	12	0.59	37	1.81	3	0.15	55	2.68	32	1.56	9	114
計	64～69	6	0.34	14	0.79	26	1.46	8	0.45	63	3.55	28	1.58	10	114
	70～79	3	0.15	25	1.29	38	1.96	5	0.26	75	3.87	53	2.73	5	145
	80～88	3	0.38	7	0.88	16	2.01	5	0.63	25	3.14	27	3.39	6	66
	計	12	0.27	46	1.02	80	1.77	18	0.40	163	3.61	108	2.39	21	325

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

(単位：人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例		
			% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男 性	2.0km以内直接被爆群	513	46	9.0	46	100.0	4	0.78	0.78
	2.1km以上直接被爆群	860	78	9.1	75	96.2	3	0.35	0.36
	入 市・他 群	1,092	105	9.6	102	97.1	5	0.46	0.47
	計	2,465	229	9.3	223	97.4	12	0.49	0.50
女 性	2.0km以内直接被爆群	389	23	5.9	23	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	654	36	5.5	36	100.0	0	0.00	0.00
	入 市・他 群	1,006	65	6.5	64	98.5	0	0.00	0.00
	計	2,049	124	6.1	123	99.2	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	902	69	7.6	69	100.0	4	0.44	0.44
	2.1km以上直接被爆群	1,514	114	7.5	111	97.4	3	0.20	0.20
	入 市・他 群	2,098	170	8.1	166	97.6	5	0.24	0.24
	計	4,514	353	7.8	346	98.0	12	0.27	0.27

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100³ 発見率：症例数/受診者数×100⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者は表7 aのとおり、男性5,613人、女性6,095人、計11,708人である。要精検率は男性3.1%、女性2.8%、計2.9%と男性に高く、加齢に伴って増加の傾向を認める。精検実施率は男性94.2%、女性93.5%、全体では93.8%である。精検結果は表7 bに示すように、有所見率は男性2.65%、女性2.38%、計2.51%で、女性にやや高率で、加齢

に伴って増加する傾向がみられる。所見の内訳では閉塞性肺疾患 0.26%、肺炎 0.14%、肺線維症 0.14%である。

今年度新たに発見された肺癌症例は表 7 c に示す如くで、男性 9 例(0.16%)、女性 10 例(0.16%)、計 19 例(0.16%)で、推定発見率はそれぞれ 0.17%、0.18%、0.17%である。被爆状況別の肺癌発見率には、一定の傾向は見られない。

表 7 原爆 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²
63～69	1,980	55	2.8	52	94.5	1,973	40	2.0	38	95.0	3,953	95	2.4	90	94.7
70～79	2,499	73	2.9	69	94.5	2,508	60	2.4	57	95.0	5,007	133	2.7	126	94.7
80～102	1,134	44	3.9	41	93.2	1,614	69	4.3	63	91.3	2,748	113	4.1	104	92.0
計	5,613	172	3.1	162	94.2	6,095	169	2.8	158	93.5	11,708	341	2.9	320	93.8

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他				正常
			% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
男 性	64～69	6	0.30	1	0.05	3	0.15	11	0.56	2	0.10	1	0.05	41	2.07	5	47	2.37
	70～79	1	0.04	2	0.08	3	0.12	11	0.44	6	0.24	8	0.32	55	2.20	6	63	2.52
	80～93	2	0.18	2	0.18	5	0.44	4	0.35	2	0.18	4	0.35	39	3.44	2	39	3.44
	計	9	0.16	5	0.09	11	0.20	26	0.46	10	0.18	13	0.23	135	2.41	13	149	2.65
女 性	64～69	1	0.05	0	0.00	0	0.00	1	0.05	3	0.15	0	0.00	37	1.88	4	34	1.72
	70～79	3	0.12	1	0.04	1	0.04	2	0.08	1	0.04	1	0.04	61	2.43	4	53	2.11
	80～98	6	0.37	3	0.19	1	0.06	1	0.06	2	0.12	2	0.12	62	3.84	5	58	3.59
	計	10	0.16	4	0.07	2	0.03	4	0.07	6	0.10	3	0.05	160	2.63	13	145	2.38
計	64～69	7	0.18	1	0.03	3	0.08	12	0.30	5	0.13	1	0.03	78	1.97	9	81	2.05
	70～79	4	0.08	3	0.06	4	0.08	13	0.26	7	0.14	9	0.18	116	2.32	10	116	2.32
	80～98	8	0.29	5	0.18	6	0.22	5	0.18	4	0.15	6	0.22	101	3.68	7	97	3.53
	計	19	0.16	9	0.08	13	0.11	30	0.26	16	0.14	16	0.14	295	2.52	26	294	2.51

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% ¹	% ²	% ²	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男 性	2.0km以内直接被爆群	1,286	39	3.0	35	89.7	3	0.23	0.26
	2.1km以上直接被爆群	1,965	58	3.0	55	94.8	2	0.10	0.11
	入 市・他 群	2,362	75	3.2	72	96.0	4	0.17	0.18
	計	5,613	172	3.1	162	94.2	9	0.16	0.17
女 性	2.0km以内直接被爆群	1,342	50	3.7	49	98.0	2	0.15	0.15
	2.1km以上直接被爆群	2,032	51	2.5	48	94.1	3	0.15	0.16
	入 市・他 群	2,721	68	2.5	61	89.7	5	0.18	0.20
	計	6,095	169	2.8	158	93.5	10	0.16	0.18
計	2.0km以内直接被爆群	2,628	89	3.4	84	94.4	5	0.19	0.20
	2.1km以上直接被爆群	3,997	109	2.7	103	94.5	5	0.13	0.13
	入 市・他 群	5,083	143	2.8	133	93.0	9	0.18	0.19
	計	11,708	341	2.9	320	93.8	19	0.16	0.17

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ウ) 乳がん・子宮がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8 a のとおりで 2,686 人、子宮がん検診は 2,260 人である。要精検率は、乳がん検診が 3.8%、子宮がん検診が 0.4% である。また、精検実施率はそれぞれ 97.1%、70.0% である。

表 8 b にそれぞれの精検結果を示す。乳がん検診の有所見率は 2.23% である。所見の内訳は乳腺症が 0.82% と最も多く、ついで乳癌 0.34% の順である。子宮がん検診の有所見率は 0.31% である。

今年度新たに発見された乳癌は表 8 c に示す如く 9 例(0.34%)で、子宮癌は 1 例(0.04%)であった。乳癌の推定発見率は 0.35% であり、被爆状況別には、乳癌発見率は近距離被爆群のほうが高い傾向にあった。

表 8 原爆 乳がん・子宮がん

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

乳がん検診	年 齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮がん検診	年 齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
				% ¹		% ²					% ¹		% ²
	63～69	1,174	45	3.8	45	100.0		63～69	975	4	0.4	3	75.0
	70～79	1,133	41	3.6	40	97.6		70～79	980	2	0.2	2	100.0
	80～94	379	16	4.2	14	87.5		80～92	305	4	1.3	2	50
	計	2,686	102	3.8	99	97.1		計	2,260	10	0.4	7	70.0

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

乳がん検診	年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
		が ん		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
	64～69	6	0.51	0	0.00	7	0.60	18	1.53	15	30	2.56
	70～79	1	0.09	0	0.00	12	1.06	12	1.06	18	22	1.94
	80～86	2	0.53	0	0.00	3	0.79	3	0.79	6	8	2.11
計	9	0.34	0	0.00	22	0.82	33	1.23	39	60	2.23	
子宮がん検診	年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
		が ん		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
	64～69	0	0.00	1	0.10	1	0.10	1	0.10	0	3	0.31
	70～79	1	0.10	0	0.00	1	0.10	0	0.00	0	2	0.20
	80～91	0	0.00	1	0.33	0	0.00	1	0.33	0	2	0.66
計	1	0.04	2	0.09	2	0.09	2	0.09	0	7	0.31	

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た乳癌・子宮癌発見率

(単位:人)

乳がん検診	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳 癌 症 例		
			% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴	
	2.0km以内直接被爆群	553	23	4.2	23	100.0	5	0.90	0.90
	2.1km以上直接被爆群	892	36	4.0	34	94.4	2	0.22	0.24
	入 市・他 群	1,241	43	3.5	42	97.7	2	0.16	0.16
	計	2,686	102	3.8	99	97.1	9	0.34	0.35

子宮がん検診	被 曝 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子 宮 癌 症 例		
			% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴	
	2.0km以内直接被爆群	463	3	0.6	2	66.7	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	737	4	0.5	3	75.0	1	0.14	0.18
	入 市・他 群	1,060	3	0.3	2	66.7	0	0.00	0.00
	計	2,260	10	0.4	7	70.0	1	0.04	0.06

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(I) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者は 17,352 人であり、その内訳は男性 7,529 人、女性 9,823 人で、要精検率はそれぞれ 4.2%、3.2%で全体では 3.6%である(表 9 a)。また、精検実施率はそれぞれ、99.7%、99.0%、99.4%である。精検結果は表 9 b のとおりで、有所見率は男性 2.75%、女性 1.66%、計 2.13%である。その内訳で最も多くみられるのは前骨髄腫 0.77%で、ついで骨髄腫 0.62%、良性 M 蛋白血症 0.48%、マクログロブリン血症 0.26%の順である。骨髄腫症例は男性 56 例(0.74%)、女性 51 例(0.52%)、計 107 例(0.62%)である。そのうち、今年度新たに発見された症例は、表 9 c に示すように、男性 5 例(0.07%)、女性 8 例(0.08%)、計 13 例(0.07%)で、推定発見率はそれぞれ 0.07%、0.08%、0.08%である。被爆状況別の多発性骨髄腫発見率には、一定の傾向は見られない。

表 9 原爆 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹		% ²			% ¹		% ²			% ¹		% ²	
63～69	2,451	70	2.9	69	98.6	2,915	61	2.1	60	98.4	5,366	131	2.4	129	98.5
70～79	3,341	142	4.3	142	100	3,878	130	3.4	130	100	7,219	272	3.8	272	100
80～103	1,737	107	6.2	107	100	3,030	119	3.9	117	98.3	4,767	226	4.7	224	99.1
計	7,529	319	4.2	318	99.7	9,823	310	3.2	307	99.0	17,352	629	3.6	625	99.4

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数	
		骨髄腫		前骨髄腫		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		M蛋白 (-)	
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			% ¹
男 性	63～69	16	0.65	12	0.49	8	0.33	10	0.41	23	46
	70～79	24	0.72	35	1.05	13	0.39	23	0.69	47	95
	80～101	16	0.92	26	1.50	9	0.52	15	0.86	41	66
	計	56	0.74	73	0.97	30	0.40	48	0.64	111	207
女 性	64～69	7	0.24	10	0.34	2	0.07	3	0.10	38	22
	70～79	25	0.64	22	0.57	7	0.18	17	0.44	59	71
	80～95	19	0.63	29	0.96	6	0.20	16	0.53	47	70
	計	51	0.52	61	0.62	15	0.15	36	0.37	144	163
計	63～69	23	0.43	22	0.41	10	0.19	13	0.24	61	68
	70～79	49	0.68	57	0.79	20	0.28	40	0.55	106	166
	80～101	35	0.73	55	1.15	15	0.31	31	0.65	88	136
	計	107	0.62	134	0.77	45	0.26	84	0.48	255	370

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位：人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		骨髄腫症例数		新規骨髄腫症例 ¹		
				% ²		% ³		% ⁴	発見率 ⁴	推定発見率 ⁵	
男性	2.0km以内直接被爆群	1,719	91	5.3	90	98.9	12	0.70	3	0.17	0.18
	2.1km以上直接被爆群	2,629	92	3.5	92	100.0	22	0.84	0	0.00	0.00
	入市・他群	3,181	136	4.3	136	100.0	22	0.69	2	0.06	0.06
	計	7,529	319	4.2	318	99.7	56	0.74	5	0.07	0.07
女性	2.0km以内直接被爆群	2,232	65	2.9	65	100.0	9	0.40	1	0.04	0.04
	2.1km以上直接被爆群	3,324	95	2.9	93	97.9	17	0.51	2	0.06	0.06
	入市・他群	4,267	150	3.5	149	99.3	25	0.59	5	0.12	0.12
	計	9,823	310	3.2	307	99.0	51	0.52	8	0.08	0.08
計	2.0km以内直接被爆群	3,951	156	3.9	155	99.4	21	0.53	4	0.10	0.10
	2.1km以上直接被爆群	5,953	187	3.1	185	98.9	39	0.66	2	0.03	0.03
	入市・他群	7,448	286	3.8	285	99.7	47	0.63	7	0.09	0.09
	計	17,352	629	3.6	625	99.4	107	0.62	13	0.07	0.08

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

³ 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

² 要精検率：要精検者数/受診者数×100

⁵ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

⁴ 発見率：症例数/受診者数×100

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 10 a に示すとおり、男性 4,364 人、女性 5,275 人、計 9,639 人であり、要精検率はそれぞれ 5.7%、4.1%、4.8%である。精検実施率は、男性 63.6%、女性 52.3%、全体で 58.3%である。精検結果は表 10 b に示す如く、最も多いのは腺腫 0.66%、ついで非腫瘍性ポリープ 0.58%、大腸癌 0.08%の順である。

表 10 原爆 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
63～69	1,365	72	5.3	46	63.9	1,464	35	2.4	23	65.7	2,829	107	3.8	69	64.5
70～79	1,951	100	5.1	70	70.0	2,157	75	3.5	46	61.3	4,108	175	4.3	116	66.3
80～103	1,048	75	7.2	41	54.7	1,654	108	6.5	45	41.7	2,702	183	6.8	86	47.0
計	4,364	247	5.7	157	63.6	5,275	218	4.1	114	52.3	9,639	465	4.8	271	58.3

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
		が ん		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		その他		正常		
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
男 性	64～69	0	0.00	11	0.81	12	0.88	14	1.03	14	32	2.34
	70～79	4	0.21	22	1.13	13	0.67	27	1.38	13	57	2.92
	80～97	0	0.00	12	1.15	11	1.05	14	1.34	11	30	2.86
	計	4	0.09	45	1.03	36	0.82	55	1.26	38	119	2.73
女 性	64～69	0	0.00	6	0.41	0	0.00	6	0.41	11	12	0.82
	70～79	3	0.14	8	0.37	9	0.42	9	0.42	20	26	1.21
	80～96	1	0.06	5	0.30	11	0.67	17	1.03	18	27	1.63
	計	4	0.08	19	0.36	20	0.38	32	0.61	49	65	1.23
計	64～69	0	0.00	17	0.60	12	0.42	20	0.71	25	44	1.56
	70～79	7	0.17	30	0.73	22	0.54	36	0.88	33	83	2.02
	80～97	1	0.04	17	0.63	22	0.81	31	1.15	29	57	2.11
	計	8	0.08	64	0.66	56	0.58	87	0.90	87	184	1.91

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

ｃ 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大 腸 癌 症 例		
				% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴
男 性	2.0km以内直接被爆群	938	51	5.4	29	56.9	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,480	74	5.0	48	64.9	3	0.20	0.31
	入 市 ・ 他 群	1,946	122	6.3	80	65.6	1	0.05	0.08
	計	4,364	247	5.7	157	63.6	4	0.09	0.14
女 性	2.0km以内直接被爆群	1,098	50	4.6	24	48.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,737	70	4.0	33	47.1	2	0.12	0.24
	入 市 ・ 他 群	2,440	98	4.0	57	58.2	2	0.08	0.14
	計	5,275	218	4.1	114	52.3	4	0.08	0.15
計	2.0km以内直接被爆群	2,036	101	5.0	53	52.5	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	3,217	144	4.5	81	56.3	5	0.16	0.28
	入 市 ・ 他 群	4,386	220	5.0	137	62.3	3	0.07	0.11
	計	9,639	465	4.8	271	58.3	8	0.08	0.14

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

今年度新たに発見された大腸癌症例は表 10 c のとおり男性 4 例(0.09%)、女性 4 例(0.08%)、計 8 例(0.08%)であり、推定発見率はそれぞれ 0.14%、0.15%、0.14%であった。被爆状況別の大腸癌発見率は、一定の傾向はみられない。

(カ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要因の一つである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成 7 年 4 月より実施されている。今年度の受診者の内訳は表 11 a に示すとおりで男性 2,612 人、女性 3,011 人、計 5,623 人であり、女性における関心の高さが示されている。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性 13.2%、女性 45.8%、計 30.7%である。女性は男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表 11 b に示すが、男女とも被爆状況別には一定の傾向は認められない。

表 11 原爆 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり				% ¹
				軽度	中等度	高度	計	
男性	63～69	983	864	0	91	28	119	12.1
	70～79	1,237	1,067	0	123	47	170	13.7
	80～95	392	335	0	42	15	57	14.5
	計	2,612	2,266	0	256	90	346	13.2
女性	64～69	1,156	651	0	314	191	505	43.7
	70～79	1,325	696	1	365	263	629	47.5
	80～98	530	285	0	141	104	245	46.2
	計	3,011	1,632	1	820	558	1,379	45.8
計	63～69	2,139	1,515	0	405	219	624	29.2
	70～79	2,562	1,763	1	488	310	799	31.2
	80～98	922	620	0	183	119	302	32.8
	計	5,623	3,898	1	1,076	648	1,725	30.7

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位：人)

性	被爆状況	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり				計
				軽度	中等度	高度		
男性	2.0km以内直接被爆群	631	543	0	72	16	88	13.9
	2.1km以上直接被爆群	926	828	0	71	27	98	10.6
	入市・他群	1,055	895	0	113	47	160	15.2
	計	2,612	2,266	0	256	90	346	13.2
女性	2.0km以内直接被爆群	704	376	1	189	138	328	46.6
	2.1km以上直接被爆群	1,026	601	0	250	175	425	41.4
	入市・他群	1,281	655	0	381	245	626	48.9
	計	3,011	1,632	1	820	558	1,379	45.8
計	2.0km以内直接被爆群	1,335	919	1	261	154	416	31.2
	2.1km以上直接被爆群	1,952	1,429	0	321	202	523	26.8
	入市・他群	2,336	1,550	0	494	292	786	33.6
	計	5,623	3,898	1	1,076	648	1,725	30.7

¹ 所見率：所見例数/受診者数×100

オ 原爆被爆者二世健康診断の実施

原爆被爆者二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。

なお、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆者二世健康診断の実施状況は表 12 のとおりである。

表 12 原爆被爆者二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検実施率
昭和 48	578	580	100.3
49	109	110	100.9
50	82	83	101.2
51	51	51	100.0
52	131	129	98.5
53	124	126	101.6
54	1,942	1,768	91.0
55	1,041	626	60.1
56	854	494	57.8
57	995	572	57.5
58	1,152	663	57.6
59	1,551	853	55.0
60	1,798	1,072	59.6
61	1,967	1,155	58.7
62	2,250	1,314	58.4
63	2,780	1,551	55.8
平成元	2,417	1,161	48.0
2	2,078	1,127	54.2
3	2,132	1,219	57.2

年 度	一般検査	精密検査	精検実施率
4	2,309	1,520	65.8
5	2,508	1,610	64.2
6	2,297	1,698	73.9
7	2,391	1,936	81.0
8	2,475	2,138	86.4
9	2,867	2,309	80.5
10	2,786	2,796	100.4
11	3,201	3,202	100.0
12	3,711	3,711	100.0
13	3,762	3,762	100.0
14	2,919	2,919	100.0
15	3,150	3,150	100.0
16	2,483	2,483	100.0
17	2,678	2,678	100.0
18	2,497	2,497	100.0
19	2,477	2,477	100.0
20	2,428	2,428	100.0
21	2,565	2,565	100.0
22	2,486	2,486	100.0

(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等

ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年 9 月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表 1、検査項目は表 2、実施状況は表 3 のとおりである。

表 1 検診内容・検診区域の推移

検診会場 検診項目	施設検診	出張検診			
		中区・南区・西区・ 東区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老 健 法 基 本 健 康 診 査	元. 9～ 20.3	2. 4～20.3		10. 4～20.3*	10. 4～20.3*◇
胃 が ん 検 診	元. 9～	2. 4～	4. 4～	5. 4～	
肺 が ん 検 診		8. 4～			
乳 が ん 検 診		2. 4～	4. 4～	5. 4～	
子 宮 が ん 検 診					
大 腸 が ん 検 診	4. 11～	4. 11～		10. 4～*	10. 4～*◇
結 核 健 診	元. 9～	2. 4～			
骨 粗 鬆 症 検 診	7. 10～				
マンモグラフィ検診	9. 4～17.3 ◎				
C 型・B 型肝炎ウイルス検査	10. 10～	10. 10～		10. 10～*	10. 10～*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～		20.5～*	20.5～*

「元. 9～」は、平成元年 9 月から検診を開始したことを示す。

* 日曜検診のみ ◇ 白木町は平成 2 年 4 月から 13 年 3 月まで。

◎ 平成 17 年度からは、乳がん検診に乳房 X 線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

表 2 健診種別及び検査項目（平成 22 年度）

種 別		対 象 者（広島市内在住者）	検 査 項 目
特定健康診査		40 歳以上 74 歳未満(被爆者含む)	必須検査： 身体計測・腹囲測定・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
健康診査	医療保険未加入者	上記年齢者の医療保険未加入者	選択検査： 貧血検査・心電図・眼底検査 (医師の判断により実施)
	後期高齢者医療被保険者	被爆者を除く原則 75 歳以上の者	身体計測・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
がん検診	胃がん検診	40 歳以上の者	胃部 X 線撮影
	肺がん検診	40 歳以上の者	胸部 X 線撮影(間接)、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	40 歳以上の女性、2 年に 1 回	視診、触診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	20 歳以上の女性、2 年に 1 回	視診、内診、細胞診(頸部)
	大腸がん検診	40 歳以上の者	便潜血二日法
結核健康診断		65 歳以上の者	胸部 X 線撮影(間接)
骨粗鬆症検診		女性：20 歳から 5 歳間隔の年齢の者 男性：40 歳から 5 歳間隔の年齢の者	骨塩定量検査(超音波方式)
C 型・B 型肝炎ウイルス検査 (肝がん検診)	節目検診	40 歳の者	HCV 抗体検査+HBs 抗原検査 (必要に応じて HCV 抗原検査、HCV 核酸同定検査を実施)
	未受診者検診	過去に肝炎ウイルス検診の対象者であって、受診の機会を逸した者	

表 3 実施状況

(単位：件)

年 度	基本健康診査		が ん 検 診					結核定期 健康診断	骨粗鬆症 検 診	マンモグラフィ 検 診	C型・B型肝炎 ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	－	374	－	－	－
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	－	22,683	－	－	－
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	－	22,433	－	－	－
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	－	－	－
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	－	－	－
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	－	－	－
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	－	－
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	－	－
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	－
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査(注)		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	12,685										
21	14,519		17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22	13,239		17,153	18,905	10,027	9,793	10,086	11,387	2,072		107

(注) 特定健康診査は、医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。

イ 平成 22 年度健康診査実施状況

(7) 特定健康診査

平成 22 年度の特定健康診査の受診者数は、表 4 a に示すように男性 5,670 人、女性 7,569 人、計 13,239 人であった。年齢別にみると、男性は 70 歳代、女性は 60 歳代が最も多かった。区別の受診者数では、南区と西区が 17.3%と最も多く、ついで中区、東区、佐伯区は 15%台であった(表 4 b)。

表 4 特定健康診査

a 受診者数 (被爆者 207 人含む)

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
39～49	438	7.7	471	6.2	909	6.9
50～59	489	8.6	750	9.9	1,239	9.4
60～69	2,000	35.3	3,333	44.0	5,333	40.3
70～79	2,227	39.3	2,641	34.9	4,868	36.8
80～97	516	9.1	374	4.9	890	6.7
計	5,670	100.0	7,569	100.0	13,239	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	814	14.4	1,206	15.9	2,020	15.3
南 区	945	16.7	1,341	17.7	2,286	17.3
西 区	948	16.7	1,341	17.7	2,289	17.3
東 区	877	15.5	1,145	15.1	2,022	15.3
安 芸 区	230	4.1	281	3.7	511	3.9
安 佐 南 区	549	9.7	638	8.4	1,187	9.0
安 佐 北 区	379	6.7	452	6.0	831	6.3
佐 伯 区	928	16.4	1,165	15.4	2,093	15.8
計	5,670	100.0	7,569	100.0	13,239	100.0

(イ) 胃がん検診

胃がん検診の実施状況は表 5 a に示すとおり、男性 6,957 人、女性 10,196 人、計 17,153 人であり、要精検率はそれぞれ 8.5%、4.8%、6.3%で、女性に比し男性で高率の傾向がみられる。精検実施率は男性 78.6%、女性 89.4%、計 83.5%である。

精検実施者における精検結果は表 5 b の如く、有所見率は男性 6.32%、女性 3.98%、計 4.93%であり、男性が女性に比し高率である。

所見の内訳は、胃炎が 3.00%と最も多く、ついで胃ポリープ 1.43%、胃潰瘍 0.75%の順で、がんは 0.16%である。また、男女別の所見の内訳でも男女とも胃炎が最も多く、次いで胃ポリープ、胃潰瘍の順であった。

今年度新たに発見された癌症例は表 5 c に示すとおりである。胃癌症例は、男性で 17 例(0.24%)、女性では 10 例(0.10%)、計 27 例(0.16%)であり、推定発見率はそれぞれ 0.31%、0.11%、0.19%と男性に高率である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.14%、集団検診 0.23%である。

表 5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		%	1	%	2		%	1	%	2		%	1	%	2
40～49	624	31	5.0	19	61.3	1,698	39	2.3	35	89.7	2,322	70	3.0	54	77.1
50～59	539	41	7.6	28	68.3	1,676	76	4.5	67	88.2	2,215	117	5.3	95	81.2
60～69	2,876	233	8.1	185	79.4	4,139	225	5.4	199	88.4	7,015	458	6.5	384	83.8
70～79	2,467	236	9.6	197	83.5	2,423	137	5.7	125	91.2	4,890	373	7.6	322	86.3
80～97	451	49	10.9	35	71.4	260	14	5.4	13	92.9	711	63	8.9	48	76.2
計	6,957	590	8.5	464	78.6	10,196	491	4.8	439	89.4	17,153	1,081	6.3	903	83.5

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見													有所見者数	
		がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃 炎		その他		正常		
			% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
男 性	40～49	0	0.00	4	0.64	2	0.32	2	0.32	6	0.96	9	1.44	2	17	2.72
	50～59	1	0.19	3	0.56	8	1.48	1	0.19	14	2.60	14	2.60	3	25	4.64
	60～69	4	0.14	42	1.46	33	1.15	16	0.56	112	3.89	33	1.15	12	173	6.02
	70～79	9	0.36	36	1.46	46	1.86	17	0.69	128	5.19	43	1.74	5	192	7.78
	80～90	3	0.67	5	1.11	7	1.55	4	0.89	19	4.21	19	4.21	2	33	7.32
	計	17	0.24	90	1.29	96	1.38	40	0.57	279	4.01	118	1.70	24	440	6.32
女 性	40～49	0	0.00	3	0.18	10	0.59	1	0.06	16	0.94	6	0.35	7	28	1.65
	50～59	0	0.00	8	0.48	22	1.31	5	0.30	37	2.21	12	0.72	5	62	3.70
	60～69	5	0.12	17	0.41	63	1.52	10	0.24	104	2.51	52	1.26	14	185	4.47
	70～79	5	0.21	8	0.33	47	1.94	8	0.33	74	3.05	24	0.99	6	119	4.91
	80～90	0	0.00	2	0.77	7	2.69	0	0.00	4	1.54	3	1.15	1	12	4.62
	計	10	0.10	38	0.37	149	1.46	24	0.24	235	2.30	97	0.95	33	406	3.98
計	40～49	0	0.00	7	0.30	12	0.52	3	0.13	22	0.95	15	0.65	9	45	1.94
	50～59	1	0.05	11	0.50	30	1.35	6	0.27	51	2.30	26	1.17	8	87	3.93
	60～69	9	0.13	59	0.84	96	1.37	26	0.37	216	3.08	85	1.21	26	358	5.10
	70～79	14	0.29	44	0.90	93	1.90	25	0.51	202	4.13	67	1.37	11	311	6.36
	80～90	3	0.42	7	0.98	14	1.97	4	0.56	23	3.23	22	3.09	3	45	6.33
	計	27	0.16	128	0.75	245	1.43	64	0.37	514	3.00	215	1.25	57	846	4.93

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た胃癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例		
				% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴
男 性	施 設 検 診	3,060	287	9.4	234	81.5	5	0.16	0.20
	集 団 検 診	3,897	303	7.8	230	75.9	12	0.31	0.41
	計	6,957	590	8.5	464	78.6	17	0.24	0.31
女 性	施 設 検 診	4,622	204	4.4	185	90.7	4	0.09	0.10
	集 団 検 診	5,574	287	5.1	254	88.5	6	0.11	0.12
	計	10,196	491	4.8	439	89.4	10	0.10	0.11
計	施 設 検 診	7,682	491	6.4	419	85.3	9	0.12	0.14
	集 団 検 診	9,471	590	6.2	484	82.0	18	0.19	0.23
	計	17,153	1,081	6.3	903	83.5	27	0.16	0.19

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ウ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すように、男性 7,682 人、女性 11,223 人、計 18,905 人で、要精検率はそれぞれ 2.7%、2.4%、2.5%、精検実施率はそれぞれ 82.8%、83.0%、82.9% である。

精検結果は表 6 b のとおりで、有所見率は男性 1.64%、女性 1.35%、計 1.47% で、所見の内訳は、胸膜炎 0.13%、閉塞性肺疾患 0.12%、肺線維症 0.12%、肺結核 0.05% である。

今年度新たに発見された肺癌症例は男性 2 例(0.03%)、女性 4 例(0.04%)、計 6 例(0.03%) であり、推定発見率は表 6 c に示すとおり 0.03%、0.04%、0.04% である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.03%、集団検診 0.04% という結果である。

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²
40～49	629	11	1.7	10	90.9	1,303	17	1.3	14	82.4	1,932	28	1.4	24	85.7
50～59	619	14	2.3	11	78.6	1,521	26	1.7	21	80.8	2,140	40	1.9	32	80.0
60～69	2,900	64	2.2	49	76.6	4,693	101	2.2	85	84.2	7,593	165	2.2	134	81.2
70～79	2,899	77	2.7	66	85.7	3,263	106	3.2	87	82.1	6,162	183	3.0	153	83.6
80～97	635	38	6.0	33	86.8	443	21	4.7	18	85.7	1,078	59	5.5	51	86.4
計	7,682	204	2.7	169	82.8	11,223	271	2.4	225	83.0	18,905	475	2.5	394	82.9

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数	
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他		正常	% ¹
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹		
男 性	40～49	0	0.00	1	0.16	0	0.00	1	0.16	0	0.00	0	0.00	3	0.48	5	0.79
	50～59	0	0.00	1	0.16	2	0.32	2	0.32	0	0.00	0	0.00	6	0.97	3	1.29
	60～69	0	0.00	2	0.07	5	0.17	6	0.21	1	0.03	4	0.14	30	1.03	13	1.24
	70～79	2	0.07	2	0.07	6	0.21	8	0.28	2	0.07	5	0.17	37	1.28	16	1.72
	80～90	0	0.00	2	0.31	4	0.63	3	0.47	0	0.00	5	0.79	20	3.15	6	4.25
	計	2	0.03	8	0.10	17	0.22	20	0.26	3	0.04	14	0.18	96	1.25	43	1.64
女 性	40～49	0	0.00	0	0.00	1	0.08	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	0.38	9	0.38
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	13	0.85	9	0.79
	60～69	0	0.00	1	0.02	3	0.06	1	0.02	1	0.02	1	0.02	58	1.24	29	1.19
	70～79	3	0.09	1	0.03	1	0.03	1	0.03	0	0.00	6	0.18	54	1.65	27	1.84
	80～90	1	0.23	0	0.00	2	0.45	0	0.00	1	0.23	2	0.45	14	3.16	0	4.06
	計	4	0.04	2	0.02	7	0.06	2	0.02	3	0.03	9	0.08	144	1.28	74	1.35
計	40～49	0	0.00	1	0.05	1	0.05	1	0.05	0	0.00	0	0.00	8	0.41	14	0.52
	50～59	0	0.00	1	0.05	2	0.09	2	0.09	1	0.05	0	0.00	19	0.89	12	0.93
	60～69	0	0.00	3	0.04	8	0.11	7	0.09	2	0.03	5	0.07	88	1.16	42	1.21
	70～79	5	0.08	3	0.05	7	0.11	9	0.15	2	0.03	11	0.18	91	1.48	43	1.79
	80～90	1	0.09	2	0.19	6	0.56	3	0.28	1	0.09	7	0.65	34	3.15	6	4.17
	計	6	0.03	10	0.05	24	0.13	22	0.12	6	0.03	23	0.12	240	1.27	117	1.47

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% ¹	% ¹	% ²	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男 性	施 設 検 診	3,915	94	2.4	77	81.9	1	0.03	0.03
	集 団 検 診	3,767	110	2.9	92	83.6	1	0.03	0.03
	計	7,682	204	2.7	169	82.8	2	0.03	0.03
女 性	施 設 検 診	6,303	157	2.5	135	86.0	2	0.03	0.04
	集 団 検 診	4,920	114	2.3	90	78.9	2	0.04	0.05
	計	11,223	271	2.4	225	83.0	4	0.04	0.04
計	施 設 検 診	10,218	251	2.5	212	84.5	3	0.03	0.03
	集 団 検 診	8,687	224	2.6	182	81.3	3	0.03	0.04
	計	18,905	475	2.5	394	82.9	6	0.03	0.04

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100³ 発見率：症例数/受診者数×100⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(イ) 乳がん検診

乳がん検診は、平成 17 年 4 月より、問診、視診及び触診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を 40 歳以上の対象者に 2 年に 1 回行うこととなった。表 7 a に示すように、今年度の乳がん検診の受診者数は 10,027 人、要精検率 6.0%、精検実施率は 87.2%である。

精検結果を表 7 b に示す。乳がん検診全体での有所見率は 3.64%で、内訳は乳腺症 1.40%、線維腺腫 0.66%、乳癌 0.33%である。今年度新たに発見された乳癌は 33 例、推定発見率は 0.38%である（表 7 c）。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.59%、集団検診 0.19%である。

表 7 乳がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

（単位：人）

年 齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹		% ²
40～49	2,374	200	8.4	174	87.0
50～59	2,018	120	5.9	98	81.7
60～69	3,719	192	5.2	173	90.1
70～79	1,750	81	4.6	72	88.9
80～92	166	7	4.2	6	85.7
計	10,027	600	6.0	523	87.2

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

（単位：人）

年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		% ¹
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
40～49	7	0.29	34	1.43	54	2.27	56	2.36	34	140	5.90
50～59	2	0.10	12	0.59	31	1.54	27	1.34	33	65	3.22
60～69	17	0.46	15	0.40	36	0.97	46	1.24	63	110	2.96
70～79	7	0.40	4	0.23	18	1.03	18	1.03	26	46	2.63
80～86	0	0.00	1	0.60	1	0.60	2	1.20	2	4	2.41
計	33	0.33	66	0.66	140	1.40	149	1.49	158	365	3.64

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

（単位：人）

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳 癌 症 例		
			% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
施 設 検 診	4,753	306	6.4	262	85.6	24	0.50	0.59
集 団 検 診	5,274	294	5.6	261	88.8	9	0.17	0.19
計	10,027	600	6.0	523	87.2	33	0.33	0.38

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ロ) 子宮がん検診

子宮がん検診は、20 歳以上の対象者が、2 年に 1 回受診することができる。表 8 a に示すように、今年度の子宮がん検診の受診者は 9,793 人で、要精検率は 1.0%、精検実施率は 72.6%である。

精検結果を表 8 b に示す。有所見率は 0.52%で、軽度異型上皮 0.20%、中・高度異型上皮 0.18%、子宮癌 0.07%である。今年度新たに発見された子宮癌は 7 例、推定発見率は 0.10%である（表 8 c）。検診状況別の推定発見率は、施設検診 0.11%、集団検診 0.09%である。

表8 子宮がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹		% ²
20～29	446	16	3.6	13	81.3
30～39	1,659	21	1.3	14	66.7
40～49	1,733	30	1.7	22	73.3
50～59	1,395	7	0.5	5	71.4
60～69	2,949	14	0.5	9	64.3
70～79	1,490	7	0.5	6	85.7
80～92	121	0	0.0	0	0.0
計	9,793	95	1.0	69	72.6

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			% ¹
20～29	0	0.00	1	0.22	5	1.12	2	0.45	5	8	1.79
30～39	2	0.12	7	0.42	3	0.18	1	0.06	1	13	0.78
40～49	3	0.17	8	0.46	8	0.46	0	0.00	3	19	1.10
50～59	1	0.07	1	0.07	1	0.07	1	0.07	1	4	0.29
60～69	0	0.00	1	0.03	2	0.07	1	0.03	5	4	0.14
70～79	1	0.00	0	0.00	1	0.07	1	0.07	3	3	0.20
80～92	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
計	7	0.07	18	0.18	20	0.20	6	0.06	18	51	0.52

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮癌発見率

(単位：人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子 宮 癌 症 例		
			% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
施 設 検 診	3,899	45	1.2	32	71.1	3	0.08	0.11
集 団 検 診	5,894	50	0.8	37	74.0	4	0.07	0.09
計	9,793	95	1.0	69	72.6	7	0.07	0.10

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100³ 発見率：症例数/受診者数×100⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表9 aに示すとおり、男性3,970人、女性6,116人、計10,086人である。要精検率はそれぞれ5.0%、2.7%、3.6%で、精検実施率は65.8%、68.1%、66.9%である。

精検結果は表9 bに示す如く、有所見率は1.79%で、内訳は、腺腫0.67%、非腫瘍性ポリープ0.53%、大腸癌0.12%である。今年度新たに発見された大腸癌は12例で、推定発見率は0.18%である(表9 c)。検診状況別の推定発見率は、施設検診0.15%、集団検診0.26%という結果である。

表9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹		% ²			% ¹		% ²			% ¹		% ²	
40～49	358	12	3.4	8	66.7	810	8	1.0	5	62.5	1,168	20	1.7	13	65.0
50～59	329	12	3.6	9	75.0	963	24	2.5	14	58.3	1,292	36	2.8	23	63.9
60～69	1,564	80	5.1	57	71.3	2,569	67	2.6	49	73.1	4,133	147	3.6	106	72.1
70～79	1,462	81	5.5	52	64.2	1,599	47	2.9	33	70.2	3,061	128	4.2	85	66.4
80～96	257	14	5.4	5	35.7	175	17	9.7	10	58.8	432	31	7.2	15	48.4
計	3,970	199	5.0	131	65.8	6,116	163	2.7	111	68.1	10,086	362	3.6	242	66.9

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数		
		が ん		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		その他				正常
			% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
男 性	40～49	0	0.00	2	0.56	0	0.00	2	0.56	4	4	1.12
	50～59	0	0.00	3	0.91	2	0.61	1	0.30	3	6	1.82
	60～69	3	0.19	20	1.28	17	1.09	14	0.90	8	49	3.13
	70～79	3	0.21	21	1.44	14	0.96	15	1.03	8	44	3.01
	80～91	1	0.39	2	0.78	3	1.17	1	0.39	1	4	1.56
	計	7	0.18	48	1.21	36	0.91	33	0.83	24	107	2.70
女 性	40～49	0	0.00	1	0.12	0	0.00	3	0.37	1	4	0.49
	50～59	0	0.00	1	0.10	3	0.31	5	0.52	6	8	0.83
	60～69	1	0.04	12	0.47	7	0.27	17	0.66	19	30	1.17
	70～79	2	0.13	4	0.25	6	0.38	11	0.69	10	23	1.44
	80～87	2	1.14	2	1.14	1	0.57	4	2.29	1	9	5.14
	計	5	0.08	20	0.33	17	0.28	40	0.65	37	74	1.21
計	40～49	0	0.00	3	0.26	0	0.00	5	0.43	5	8	0.68
	50～59	0	0.00	4	0.31	5	0.39	6	0.46	9	14	1.08
	60～69	4	0.10	32	0.77	24	0.58	31	0.75	27	79	1.91
	70～79	5	0.16	25	0.82	20	0.65	26	0.85	18	67	2.19
	80～91	3	0.69	4	0.93	4	0.93	5	1.16	2	13	3.01
	計	12	0.12	68	0.67	53	0.53	73	0.72	61	181	1.79

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大 腸 癌 症 例		
			% ¹		% ²		発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男 性	施 設 検 診	2,880	130	4.5	80	61.5	4	0.14	0.23
	集 団 検 診	1,090	69	6.3	51	73.9	3	0.28	0.37
	計	3,970	199	5.0	131	65.8	7	0.18	0.27
女 性	施 設 検 診	4,592	111	2.4	73	65.8	3	0.07	0.10
	集 団 検 診	1,524	52	3.4	38	73.1	2	0.13	0.18
	計	6,116	163	2.7	111	68.1	5	0.08	0.12
計	施 設 検 診	7,472	241	3.2	153	63.5	7	0.09	0.15
	集 団 検 診	2,614	121	4.6	89	73.6	5	0.19	0.26
	計	10,086	362	3.6	242	66.9	12	0.12	0.18

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100³ 発見率：症例数/受診者数×100⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(キ) C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

平成18年度から、C型・B型肝炎ウイルス検査の対象者は40歳の方の節目検診、または輸血歴・手術歴のある者に変更された。

表10 C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²
40～49	8	0	0.0	0	0.00	14	0	0.0	0	0.00	22	0	0.0	0	0.00
50～59	4	0	0.0	0	0.00	16	0	0.0	0	0.00	20	0	0.0	0	0.00
60～69	17	1	5.9	0	0.00	28	0	0.0	0	0.00	45	1	2.2	0	0.00
70～79	8	0	0.0	0	0.00	9	0	0.0	0	0.00	17	0	0.0	0	0.00
80～81	0	0	0.0	0	0.00	3	0	0.0	0	0.00	3	0	0.0	0	0.00
計	37	1	2.7	0	0.00	70	0	0.0	0	0.00	107	1	0.9	0	0.00

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見												有所見者数	
		が ん		急性肝炎		慢性肝炎		脂肪肝		肝硬変		その他		正常	
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹		% ¹
男 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	80～81	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
女 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	80～81	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
計	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	80～81	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肝癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肝 癌 症 例		
			% ¹	% ¹	% ²	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	推定発見率 ⁴
男 性	施 設 検 診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集 団 検 診	37	1	2.7	0	0.00	0	0.00	0.00
	計	37	1	2.7	0	0.00	0	0.00	0.00
女 性	施 設 検 診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集 団 検 診	70	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	計	70	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
計	施 設 検 診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集 団 検 診	107	1	0.9	0	0.00	0	0.00	0.00
	計	107	1	0.9	0	0.00	0	0.00	0.00

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

受診者数は表 10 a のように、男性 37 人、女性 70 人、計 107 人である。C 型・B 型肝炎ウイルス抗体(一次スクリーニング検査)陽性率(要精検率)は、男性 2.7%、女性 0.0%、計 0.9%である。要精検者の精検受診率は男性 0.0%、女性 0.0%、計 0.0%である。精検結果は表 10 b のとおりで、有所見率は 0.0%である。

(7) 悪性新生物症例

高齢者の医療の確保に関する法律等の検診により、当センターで発見した悪性新生物症例について表 11 に示す。乳癌 61 例、胃癌 34 例、大腸癌 20 例、肺癌 9 例、子宮癌 7 例、その他 8 例である。

表 11 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病 名	No.	年齢	性別	病 名	No.	年齢	性別	病 名
1	62	M	胃 癌 (早 期)	48	68	M	直 腸 癌 (早 期)	95	49	F	乳 癌
2	61	M	胃 癌 (早 期)	49	78	F	直 腸 癌 (早 期)	96	50	F	乳 癌
3	52	M	胃 癌 (早 期)	50	68	M	大 腸 癌 (早 期)	97	52	F	乳 癌
4	59	M	胃 癌 (早 期)	51	75	M	大 腸 癌 (早 期)	98	44	F	乳 癌
5	74	M	胃 癌 (早 期)	52	75	M	大 腸 癌 (早 期)	99	63	F	乳 癌
6	66	M	胃 癌 (早 期)	53	62	F	大 腸 癌 (早 期)	100	64	F	乳 癌
7	70	M	胃 癌 (早 期)	54	55	F	大 腸 癌 (早 期)	101	56	F	乳 癌
8	75	M	胃癌 (早期・二重癌)	55	87	F	大 腸 癌 (早 期)	102	74	F	乳 癌
9	84	M	胃 癌 (早 期)	56	80	F	大 腸 癌 (早 期)	103	70	F	乳 癌
10	57	M	胃 癌 (早 期)	57	72	F	大 腸 癌 (早 期)	104	73	F	乳 癌
11	67	F	胃 癌 (早 期)	58	76	F	大 腸 癌 (早 期)	105	71	F	乳 癌
12	63	F	胃 癌 (早 期)	59	57	F	結 腸 癌 (進 行)	106	54	F	乳 癌
13	74	F	胃 癌 (早 期)	60	67	M	直 腸 癌 (進 行)	107	66	F	乳 癌
14	67	F	胃 癌 (早 期)	61	67	M	大 腸 癌 (進 行)	108	40	F	乳 癌
15	55	F	胃 癌 (早 期)	62	62	M	大 腸 癌 (進 行)	109	66	F	乳 癌
16	67	F	胃 癌 (早 期)	63	75	M	大 腸 癌 (進 行)	110	56	F	乳 癌
17	70	M	胃 癌 (進 行)	*64	67	F	乳 癌	111	71	F	乳 癌
18	79	M	胃 癌 (進 行)	65	61	F	乳 癌	112	61	F	乳 癌
19	81	M	胃 癌 (進 行)	66	52	F	乳 癌	113	72	F	乳 癌
20	75	M	胃 癌 (進 行)	67	48	F	乳 癌	114	66	F	乳 癌
21	61	M	胃 癌 (進 行)	68	67	F	乳 癌	115	76	F	乳 癌
22	66	M	胃 癌	69	71	F	乳 癌	116	51	F	乳 癌
23	78	M	胃 癌	70	55	F	乳 癌	117	71	F	乳 癌
24	77	M	胃 癌	71	75	F	乳 癌	118	70	F	乳 癌
25	70	M	胃 癌	72	54	F	乳 癌	119	62	F	乳 癌
26	69	M	胃 癌	73	66	F	乳 癌	120	82	F	乳 癌
27	75	M	胃 癌	74	61	F	乳 癌	121	63	F	乳 癌
28	82	M	胃 癌	75	60	F	乳 癌	122	48	F	乳 癌
29	73	F	胃 癌	76	50	F	乳 癌	123	60	F	乳 癌
30	74	F	胃 癌	77	61	F	乳 癌	124	68	F	乳 癌
31	39	F	胃 癌	78	67	F	乳 癌	125	45	F	子 宮 頸 癌
32	61	F	胃 癌	79	46	F	乳 癌	126	42	F	子 宮 頸 癌
33	73	F	胃 癌	80	69	F	乳 癌	127	30	F	子 宮 頸 癌
34	66	F	胃 癌	81	63	F	乳 癌	128	72	F	子 宮 頸 癌
35	73	M	肺 癌	82	85	F	乳 癌	129	35	F	子 宮 頸 癌
36	73	M	肺 癌	83	58	F	乳 癌	130	48	F	子 宮 頸 癌
37	75	M	肺 癌	84	75	F	乳 癌	131	50	F	子 宮 頸 癌
38	84	F	肺 癌	85	67	F	乳 癌	132	62	F	食 道 癌
39	70	F	肺 癌	86	63	F	乳 癌	133	62	F	食 道 癌
40	81	F	肺 癌	87	76	F	乳 癌	134	74	F	食 道 癌
41	78	F	肺 癌	88	63	F	乳 癌	135	50	F	甲 状 腺 癌
42	71	F	肺 癌	89	70	F	乳 癌	136	53	F	甲 状 腺 癌
*43	67	F	肺 癌	90	60	F	乳 癌	137	76	M	慢性骨髄性白血病
44	75	M	結 腸 癌 (早 期)	91	64	F	乳 癌	138	62	F	転 移 性 胃 癌
45	57	F	結 腸 癌 (早 期)	92	63	F	乳 癌	139	74	F	転 移 性 肺 癌
46	72	M	直 腸 癌 (早 期)	93	45	F	乳 癌				
47	80	M	直 腸 癌 (早 期)	94	66	F	乳 癌				

*[No. 43・No. 64]は同一症例

(ケ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市の独自の施策として平成 7 年 10 月より開始された(平成 16 年 4 月からの検診対象者は、男性では 40 歳以上、女性では 20 歳以上の 5 歳刻み)。

受診者の内訳は表 12 に示すとおりで、男性 603 人、女性 1,469 人、計 2,072 人であり、女性が多い。骨量の「減少あり」と判定された有所見率は、男性 36.7%、女性 45.6%、全体で 43.0%と高率であり、骨粗鬆症と診断されている者、またその恐れがある者が多く受診しているためと考えられる。

表 12 骨粗鬆症検診

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	受診者数	測 定 結 果				
			減少なし	減少あり			
				中等度	高 度	計	% ¹
男 性	40・45	44	30	11	3	14	31.8
	50・55	35	23	10	2	12	34.3
	60・65	152	103	37	12	49	32.2
	70・75	322	199	71	52	123	38.2
	80・85・90・95	50	27	10	13	23	46.0
	計	603	382	139	82	221	36.7
女 性	20・25	3	3	0	0	0	0.0
	30・35	10	10	0	0	0	0.0
	40・45	227	209	15	3	18	7.9
	50・55	259	200	41	18	59	22.8
	60・65	514	233	184	97	281	54.7
	70・75	411	137	137	137	274	66.7
	80・85	45	7	15	23	38	84.4
	計	1,469	799	392	278	670	45.6
計	20・25	3	3	0	0	0	0.0
	30・35	10	10	0	0	0	0.0
	40・45	271	239	26	6	32	11.8
	50・55	294	223	51	20	71	24.1
	60・65	666	336	221	109	330	49.5
	70・75	733	336	208	189	397	54.2
	80・85・90・95	95	34	25	36	61	64.2
	計	2,072	1,181	531	360	891	43.0

¹ 有所見率：「減少あり」例数/受診者数×100

(2) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

受診者数は表13aのとおりで、男性5,300人、女性6,087人、計11,387人であり、年齢別には男性、女性とも70歳代にピークがみられる。区別の受診者数では、表13bに示すように、安佐北区が最も多く、ついで安佐南区、南区の順である。要精検率は表13cのとおり男性3.0%、女性3.0%、計3.0%である。

表13 結核健診

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
50～59	2	0.0	4	0.1	6	0.1
60～69	1,758	33.2	2,349	38.6	4,107	36.1
70～79	2,900	54.7	3,273	53.8	6,173	54.2
80～97	640	12.1	461	7.6	1,101	9.7
計	5,300	100.0	6,087	100.0	11,387	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	502	9.5	718	11.8	1,220	10.7
南 区	650	12.3	883	14.5	1,533	13.5
西 区	628	11.8	783	12.9	1,411	12.4
東 区	645	12.2	691	11.4	1,336	11.7
安 芸 区	539	10.2	546	9.0	1,085	9.5
安 佐 南 区	794	15.0	828	13.6	1,622	14.2
安 佐 北 区	849	16.0	879	14.4	1,728	15.2
佐 伯 区	693	13.1	759	12.5	1,452	12.8
計	5,300	100.0	6,087	100.0	11,387	100.0

c 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
50～59	2	0	0.0	4	0	0.0	6	0	0.0
60～69	1,758	43	2.4	2,349	54	2.3	4,107	97	2.4
70～79	2,900	77	2.7	3,273	106	3.2	6,173	183	3.0
80～97	640	39	6.1	461	21	4.6	1,101	60	5.4
計	5,300	159	3.0	6,087	181	3.0	11,387	340	3.0

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の実施

下記の調査研究を行い、その成果は、「原子爆弾後障害研究会」をはじめ関係各学会等に 32 題を発表したほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙に発表した。

- ア 「被爆者がん検診の意義に関する研究」(継続)
- イ 「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」(継続)
- ウ 「被爆者の糖代謝に関する研究」(継続)
- エ 「肺がんに関する研究」(継続)
- オ 「加齢に関する研究」(継続)

(2) 被爆者健康診断資料の収集整理と活用

被爆者健康診断の受診者に関する資料（カルテ、心電図所見等）を分類整理・収納した。健康管理・増進センターでは、必要に応じてこれらの資料を被爆者の健康管理・健康指導に活用している。

また、健康診断に関する資料を引き続き電算処理し、基礎資料としての管理体制を整えている。

(3) 文献の収集

原爆関係図書「被爆者のあかし 紙碑 第 6 集」ほか 4 篇を収集した。

(4) 第 51 回原子爆弾後障害研究会への協力

第 51 回原子爆弾後障害研究会は、6 月 6 日(日)、長崎原爆資料館において開催された。研究会では、特別講演、シンポジウムのほか、一般演題 37 題が発表された。本会関係者は、シンポジウム 1 題、一般演題 2 題を発表した。

◎ シンポジウム「原爆被爆者検診の現状」

- ・「原爆被爆者検診の現状と課題」 佐々木英夫

◎ 一般演題

- ・「被爆者における大腸がん検診成績（第 7 報）」 平岡佐知子 ほか
- ・「被爆者健康診断における C 型肝炎検査についての検討」 吉良さくらこ ほか

(5) 検診結果の統計処理

本会の実施する被爆者健康診断によって得られた被爆者の健康状態に関する各種の情報はコンピュータにより統計処理を行うとともに、データは磁気ディスク等に記録し保存している。平成 22 年度に実施した主な事項は次のとおりである。

- ア 本会の実施した被爆者健康診断受診者の受診状況・疾病状況及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査等に関する平成 22 年度の年間統計
- イ 被爆者糖尿病追跡調査のための電算統計処理

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

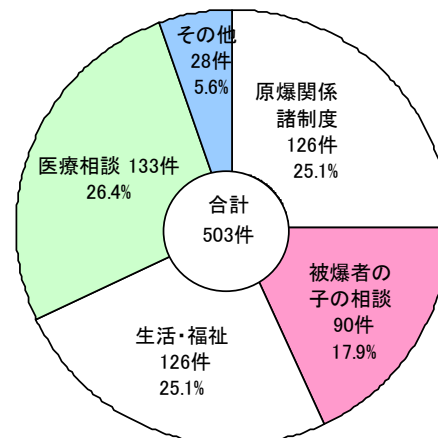
昭和 36 年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和 42 年 7 月専任相談員を配置し、昭和 53 年 11 月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び平成 22 年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年 度	件数 (件)	年 度	件数 (件)
昭和 36	51	昭和 61	3,086
37	29	62	3,454
38	19	63	5,333
39	30	平成元	4,530
40	46	2	4,074
41	68	3	4,183
42	240	4	3,525
43	334	5	3,451
44	465	6	3,482
45	626	7	3,512
46	910	8	3,576
47	626	9	3,393
48	507	10	3,758
49	568	11	2,911
50	871	12	3,414
51	1,241	13	2,817
52	1,746	14	2,572
53	2,566	15	2,522
54	3,174	16	2,455
55	2,319	17	2,084
56	3,676	18	576
57	3,057	19	625
58	2,852	20	566
59	2,660	21	601
60	3,283	22	503

平成 22 年度の被爆者相談の状況



※平成 18 年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金： 被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額 10,000 円を支給する。
- イ 温泉療養交通費補助金： 原爆被爆者有福温泉療養研究所で 6 泊 7 日以上療養した者に、交通費の一部として 1 回 1,000 円を支給する。
- ウ 被爆身障者等見舞金： 夏季と年末の年 2 回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- エ 福祉用具貸与・購入費補助： 住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

オ その他 の 補 助： 以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

平成 22 年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

平成 22 年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
温泉療養交通費補助金	308	308,000
被爆身体障害者等見舞金	16	150,000
福祉用具貸与・購入費補助	177	1,782,000
合 計	501	2,240,000

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

昭和 42 年 6 月、厚生省のあっせんにより日本自転車振興会の公益事業補助金の交付を受け、広島市、島根県、江津市などの援助を受けて、原爆被爆者有福温泉療養研究所(有福温泉荘)を開設した。

現在は、原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会(会長：江津市長)に運営を委託し、必要な助成を行って被爆者の福祉増進を図っている。

なお、泉質及び適応症は別表のとおりで、入湯療養の効果をおさめている。

ア 沿 革

昭和 42 年 6 月	日本自転車振興会等の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を開設
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、暖房設備工事及び倉庫建設工事完成
昭和 45 年 5 月	2 階増改築工事完成
昭和 49 年 7 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 56 年 10 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋根防水改修その他工事完成
昭和 60 年 8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、車庫上屋根新設工事等完成
昭和 62 年 8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
平成 4 年 8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、内部・外部改修工事等施設整備工事完成
平成 9 年 8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、浴室改修その他工事完成
平成 10 年 8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋上陸屋根防水工事その他の工事完成
平成 14 年 7 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
平成 19 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、外壁・厨房等設備改修工事完成

イ 運 営 原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会（江津市）

ウ 施 設

- ・所在地 島根県江津市有福温泉町 762 番地 4 (〒695-0156, 電話・FAX 0855-56-2148)
- ・敷 地 3,348.73 m²
- ・建 物 鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 2 階建 延 1,488.52 m²
宿泊室(20 室)、浴室(2)、食堂、娯楽室、事務室、従業員室
- ・事業費 298,518 千円

(財源内容)	日 本 自 転 車 振 興 会 補 助 金	34,580 千円
	車両競技公益資金記念財団補助金	84,780 千円
	広 島 県 補 助 金	50,942 千円
	広 島 市 補 助 金	60,669 千円
	島 根 県 補 助 金	2,000 千円
	江 津 市 補 助 金	4,287 千円
	原 対 協 負 担 金	59,150 千円
	そ の 他 寄 付 金	2,110 千円

- ・定 員 72 名

エ 申込手続き等

- ・広島原爆障害対策協議会または有福温泉荘で、利用する 4 か月前から受付
- ・利用料金 宿泊 (1 泊 3 食付) 被爆者 5,300 円 付添 6,500 円
- ・利用者には、バス運賃 (広島電鉄) の割引証 (2 割引) を交付する。

オ 泉質及び適応症

泉 質	単純温泉	カルシウム (mg/kg)	10.78	硫 酸 (mg/kg)	18.59
泉 温	46.5 度	ナトリウム (")	80.99	ヒドロ炭酸 (")	86.32
P H	8.8	カ リ ウ ム (")	3.48	炭 酸 (")	13.96
蒸発残留物	265.4	マグネシウム (")	1.77	メ タ 硅 酸 (")	67.07
ラ ド ン	0.14	ク ロ ー ル (")	66.04		

適 応 症	慢性関節リウマチ、筋肉リウマチ、神経痛、神経炎、骨・関節運動器障害、 外傷性障害の治療、疲労回復
-------	---

カ 年度別利用状況

年 度	男	女	計
昭和 43	1,025	1,477	2,502
44	1,299	1,665	2,964
45	1,195	1,867	3,062
46	1,176	1,884	3,060
47	1,304	2,069	3,373
48	1,361	2,036	3,397
49	1,206	2,100	3,306
50	1,332	2,258	3,590
51	1,214	2,280	3,494
52	1,400	2,536	3,936
53	1,284	2,372	3,656
54	1,376	2,436	3,812
55	1,473	2,623	4,096
56	1,483	2,839	4,322
57	1,513	2,890	4,403
58	1,403	2,679	4,082
59	1,351	2,867	4,218
60	1,316	2,919	4,235
61	1,294	2,997	4,291
62	1,166	2,761	3,927
63	1,263	2,828	4,091
平成元	1,244	2,997	4,241
2	1,253	2,992	4,245
3	1,170	3,074	4,244
4	1,080	2,808	3,888
5	1,173	3,179	4,352
6	1,232	3,211	4,443
7	1,230	3,281	4,511
8	1,216	3,318	4,534
9	990	2,989	3,979
10	1,231	3,239	4,470
11	1,262	3,264	4,526
12	1,263	3,230	4,493
13	1,101	2,585	3,686
14	1,157	2,640	3,797
15	1,253	2,516	3,769
16	1,339	2,488	3,827
17	1,328	2,390	3,718
18	1,130	2,061	3,191
19	1,025	2,033	3,058
20	1,019	1,891	2,910
21	1,041	1,722	2,763
22	1,018	1,678	2,696

キ 平成 22 年度の利用状況

性別

性 別	実人員		延人員	
	人員（人）	比率（％）	人員（人）	比率（％）
男	1,018	37.8	2,586	30.1
女	1,678	62.2	6,014	69.9
計	2,696	100.0	8,600	100.0

年齢別

年 齢 （歳）	実人員		延人員	
	人員（人）	比率（％）	人員（人）	比率（％）
～59	188	7.0	286	3.3
60～69	601	22.3	1,359	15.8
70～	1,907	70.7	6,955	80.9
計	2,696	100.0	8,600	100.0

地域別

地 域	実 人 員		延 人 員	
	人員（人）	比率（％）	人員（人）	比率（％）
広 島 市	1,799	66.7	6,048	70.3
広 島 県	677	25.1	2,178	25.3
その他(県外)	220	8.2	374	4.4
計	2,696	100.0	8,600	100.0

4 健康増進事業

(1) 事業の内容

生活習慣病などを予防し、積極的に健康づくりを推進するため、平成元年9月から広島市の委託を受け、また、平成18年度からは広島市から指定管理者の指定を受け健康増進事業を行っている。本事業では、市民が日常生活において自主的に健康の保持・増進ができるように医学検査・体力測定・運動負荷テストおよび栄養調査によって健康度を測定し、一人ひとりに適した運動、栄養、休養の処方を行っている。

さらに、広島市各区のスポーツセンターと共同で継続的な運動の実施のための方策(登録制)も行っており、効果を挙げている。平成6年度からは、広島県体育協会との連携により国体強化選手のメディカルチェックも実施している。また、平成7年度からは、健康増進コースを受診後3～6か月後に、運動、栄養の実践の効果判定を行いたい人を対象に、新たに「効果測定メニュー」を加えるなど、一層の充実を図っている。さらに「効果測定メニュー」を利用した健康教室を年数回にわたり開催して受診者数の増加に努めている。

(2) 検査項目

項 目	内 容		基 本 コース	精 密 コース	簡易メニュー		効果測定 メニュー
					A	B	
問 診	生活状況・健康状況・食生活状況		○	○	○	○	○
尿 検 査	糖・タンパク・ウロビリノーゲン・潜血		○	○		○	
血液一般検査	貧血などの検査	白血球・赤血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット	○	○			
血液生化学	肝機能・高脂血症・尿酸及び糖尿病などの検査	GOT・GPT	○	○			
		総コレステロール・血糖					○
		HDL コレステロール・γ-GTP・ALP・CPK・総タンパク・尿酸		○			
		中性脂肪					○
胸部X線	直接撮影			○			
肺機能検査	肺活量・努力性肺活量・1秒率		○	○	○	○	
眼底撮影	動脈硬化性・高血圧性変化			○			
血圧測定	安静時		○	○	○	○	○
身体計測	身長・体重・皮下脂肪厚・シルエッター撮影		○	○	○	○	○
心電図検査	安静時		○	○	○	○	
体力測定	握力・脚伸展パワー・全身反応時間など		○	○	○	○	○*
運動負荷テスト	トレッドミルまたはエルゴメーター		○	○	○	○	
指 導	栄養指導・運動指導・総合指導		○	○	○	○	○

簡易メニューA：特定健康診査・人間ドック等の受診結果持参者向けメニュー

(希望受診日の概ね3か月以内に、特定健康診査や人間ドックで血液検査などの医学検査を受け、その結果に応じて一部検査を省略したメニュー)

簡易メニューB：広島市各区のスポーツセンターのトレーニング室利用(登録制)向けメニュー

* 一部省略可能

(3) 実施状況

(単位：件)

年 度	基本コース			精密コース			簡易コース			効果測定コース			合計
	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	
平成元	30	33	63	42	31	73							136
2	37	75	112	231	132	363	199	186	385				860
3	55	63	118	674	324	998	403	298	701				1,817
4	116	84	200	1,041	610	1,651	560	438	998				2,849
5	134	107	241	1,128	697	1,825	484	451	935				3,001
6	167	91	258	1,224	775	1,999	658	410	1,068				3,325
7	151	71	222	1,039	599	1,638	663	461	1,124	6	41	47	3,031
8	157	112	269	1,038	522	1,560	634	461	1,095	14	38	52	2,976
9	124	94	218	1,083	558	1,641	555	438	993	17	85	102	2,954
10	112	87	199	1,054	589	1,643	532	400	932	13	64	77	2,851
11	102	85	187	1,261	970	2,231	488	354	842	0	0	0	3,260
12	83	81	164	1,072	560	1,632	525	362	887	6	9	15	2,698
13	59	50	109	1,001	564	1,565	500	332	832	57	77	134	2,640
14	51	51	102	1,134	574	1,708	471	379	850	32	93	125	2,785
15	77	49	126	1,060	631	1,691	505	327	832	18	17	35	2,684
16	62	32	94	1,168	600	1,768	508	340	848	8	25	33	2,743
17	42	30	72	1,153	572	1,725	489	312	801	6	25	31	2,629
18	56	32	88	1,140	573	1,713	467	265	732	43	48	91	2,624
19	52	44	96	1,138	607	1,745	467	290	757	11	15	26	2,624
20	57	59	116	1,149	722	1,871	518	364	882	105	71	176	3,045
21	33	62	95	1,064	726	1,790	513	338	851	5	1	6	2,742
22	36	50	86	979	600	1,579	426	290	716	32	41	73	2,454

(4) 平成 22 年度実施状況

平成 22 年度における健康増進事業のコース別・月別の利用者数は表 1 のとおりである。総受診者数は 2,454 名で、基本コース受診者は 86 名（男性 36 名、女性 50 名）、精密コース受診者は 1,579 名（男性 979 名、女性 600 名）、簡易メニュー受診者は 716 名（男性 426 名、女性 290 名）、効果測定メニュー受診者は 73 名（男性 32 名、女性 41 名）であった。

表 1 健康増進事業利用状況

(単位：人、日)

区 分 (実施日数)		4月 (21)	5月 (16)	6月 (22)	7月 (21)	8月 (22)	9月 (20)	10月 (20)	11月 (20)	12月 (18)	1月 (18)	2月 (19)	3月 (14)	計 (231)	月平均 人 数
受診者数		116	100	173	243	216	253	309	302	257	205	207	73	2,454	204.5
基本 コース	受診者数	4	7	11	9	5	14	10	12	3	2	3	6	86	7.2
	性 別														
	男性	0	3	7	5	3	5	3	4	1	1	2	2	36	3
	女性	4	4	4	4	2	9	7	8	2	1	1	4	50	4.2
精密 コース	受診者数	33	49	104	178	148	186	219	207	179	123	134	19	1,579	131.6
	性 別														
	男性	21	42	71	126	107	112	125	125	98	69	69	14	979	81.6
	女性	12	7	33	52	41	74	94	82	81	54	65	5	600	50
簡易 コース	受診者数	31	41	56	54	62	52	78	81	73	77	64	47	716	59.7
	性 別														
	男性	20	18	38	35	36	29	53	39	41	47	44	26	426	35.5
	女性	11	23	18	19	26	23	25	42	32	30	20	21	290	24.2
効果測定 コース	受診者数	48	3	2	2	1	1	2	2	2	3	6	1	73	6.1
	性 別														
	男性	18	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	0	32	2.7
	女性	30	2	1	1	0	0	1	1	0	1	3	1	41	3.4

受診者数の年次別推移は表 2 のごとくで、男女ともここ 10 年間はほぼ横ばいの状態が続いていたが、平成 22 年度は減少傾向がみられた。また、受診者数の推移を年齢別にみると、男女とも 10 代から 80 代までの幅広い年齢層に利用されており、最近では 60 代以上の受診者が増加しているが、40～50 代の受診者が伸び悩んでいる。

平成 22 年度の受診者の内訳を受診回数別にみると、図 1 の如くで、初回受診者は 538 名（男性

235 名、女性 303 名）であり、全体の 21.9%であった。2 回以上の受診者は 1,916 名（男性 1,238 名、女性 678 名）で全体の 78.1%、10 回以上の受診者は 744 名（男性 570 名、女性 174 名）と長期にわたる継続受診者が全体の 30.3%と多数みられた。前年度と比較すると初回受診者は 100 名程度の減少、2 回以上の受診者は 200 名程度の減少がみられたものの、10 回以上の長期継続受診者は維持している。

表 2 平成13年度から平成22年度の年度別・年齢階級別受診状況

（単位：人）

性別	年度 年齢階級	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
男性	10代	48	24	42	53	62	57	49	49	58	23
	20代	115	123	109	82	65	60	69	87	49	51
	30代	340	357	367	376	370	359	333	311	233	222
	40代	552	586	546	588	553	530	517	576	483	444
	50代	395	417	425	481	481	517	538	583	549	525
	60代	125	134	122	117	116	123	119	165	176	134
	70代～	42	47	49	49	43	60	43	58	67	74
	計	1,617	1,688	1,660	1,746	1,690	1,706	1,668	1,829	1,615	1,473
女性	10代	29	15	41	27	42	19	18	35	28	17
	20代	98	123	96	69	64	55	53	58	32	33
	30代	195	234	197	188	173	162	185	211	191	179
	40代	329	325	323	311	284	301	310	344	338	275
	50代	269	284	286	311	290	304	312	361	371	267
	60代	85	87	67	77	81	60	69	142	126	165
	70代～	18	29	14	14	5	17	9	65	41	45
	計	1,023	1,097	1,024	997	939	918	956	1,216	1,127	981

受診者数(人)

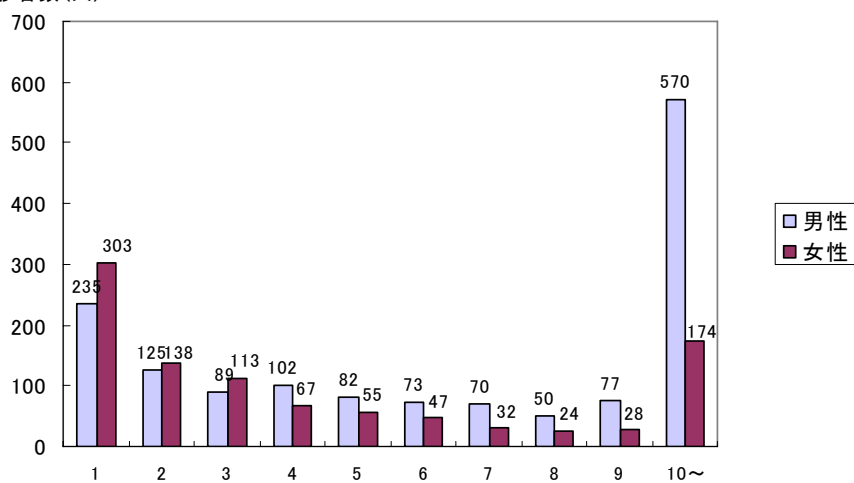


図 1 受診回数別にみた利用状況

今後、受診者の増加を図るためには、継続受診者を確保するための効果的な支援を充実させるとともに、新規の受診者の増加が必要である。そこで、平成 22 年度は継続受診者の確保には、手紙や電話を用いての受診勧奨を行い、新規受診者の増加には、パンフレットを市の公共施設 150 か所に配布したり、幅広い年齢層に関心を持っていただけるよう工夫を凝らしたテーマで「市民と市政」(4 月・5 月・7 月・3 月号)に掲載した。また、広島市中小企業勤労者共済事業の 9 月・12 月号会報に掲載し、3 月号には別刷として 800 社に配布を行った。さらに、ホームページの案内を一新するなど広報活動を積極的に行った。今後も新たな情報誌の活用や他施設と連携しながら、生活習慣病予防や介護予防など市民のニーズにあった関心度の高いテーマを取り上げ、健康増進事業をより身近に感じることができるよう啓発活動をさらに積極的に行っていくとともに、その期待に応えられるよう、医学・運動・栄養指導のスキルアップを目指していきたい。

5 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子供から高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

(1) 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子供から大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

ア 年間利用者数 45,486 人

平成22年度健康科学館利用状況

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	3,435	3,370	4,415	5,793	6,240	4,197	3,876	3,028	1,870	2,718	2,986	3,558	45,486
大人 (人)	2,015	1,897	2,548	3,072	3,042	2,288	2,062	1,634	1,052	1,648	1,721	2,073	25,052
小人 (人)	351	444	558	881	1,277	454	723	520	145	297	198	297	6,145
幼児 (人)	1,069	1,029	1,309	1,840	1,921	1,455	1,091	874	673	773	1,067	1,188	14,289
トータルヘルシアター (人)	280	286	457	733	621	220	446	371	139	188	275	616	4,632
上映回数 (回)	100	86	112	112	104	96	102	93	88	92	89	105	1,179
研修会議室 (人)	826	1,028	1,681	2,846	3,914	1,021	1,200	901	374	912	851	883	16,437
視察・見学 (回)	0	1	9	3	0	0	0	0	0	0	0	1	14
主催事業 (回)	8	9	7	18	25	9	11	11	9	9	12	7	135
共催事業 (回)	8	5	8	3	0	3	5	5	3	5	6	11	62
ビデオ上映 (回)	5	2	8	2	0	7	10	4	1	2	3	3	47
健康ライブラリー (人)	95	161	150	219	263	133	164	127	73	100	72	70	1,627
つどいの広場 (人)	1,677	1,356	1,973	2,357	2,256	2,277	1,648	1,298	1,060	1,275	1,454	1,620	20,251
大人 (人)	814	661	1,008	1,157	1,073	1,126	801	629	526	636	710	800	9,941
幼児 (人)	863	695	965	1,200	1,183	1,151	847	669	534	639	744	820	10,310

イ 企画展の開催 年 4 回

企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数	観覧者数 (人)			
			大人	小人	幼児	合計
足にまつわる健康展 今・昔	平成22年2月27日～7月11日	※1 84	4,612	1,461	1,018	7,091
わたしたちのからだアラカルト	7月17日～10月24日	83	5,209	2,911	1,627	9,747
ふしぎ！おもしろ！お口の魅力大発見	10月30日～平成23年2月20日	87	3,361	1,111	753	5,225
㊦と㊧の物語	2月26日～7月10日	※2 28	1,388	332	389	2,109
合 計		282	14,570	5,815	3,787	24,172

つどいの広場のみ及びライブラリーのみの入館者は除く。

※1 日数及び観覧者数は、平成22年4月1日から7月11日までの集計

※2 日数及び観覧者数は、平成23年2月26日から3月31日までの集計

ウ パネル展 年 12 回

(2) 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

(3) 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント (年 53 回) 参加者 1,744 人
- ・パパとママの育児教室 (年 34 回) 参加者 1,970 人

・他の関係機関との共催による研修会 (年 52 回) 参加者 2,444 人

(4) ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成事業（6 課程） (年 1 回)
- ・ボランティアの育成講座 (年 7 回)
- ・ボランティアの活動事業 (年 520 回)

(5) 広報活動（ＴＶ・ラジオ取材等） 開催数 96 回

(6) 展示物・資料等貸出 18 回

(7) ファミリー・サポート・センター事業

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

ア 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 2,538 人（提供会員：522 人 依頼会員：1,868 人 両方会員：148 人）

【平成 23 年 3 月 31 日現在】

イ 援助活動の調整

マッチング件数 828 件

ウ 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及） (年 2 回 5 月、11 月)

エ 会員同士の交流（全体交流会 1 回）

(各区交流会 8 回)

【中区、東区、南区、西区、安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区】

オ 会員講習会 22 回

カ 機関誌の発行 1 回

(8) つどいの広場事業

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

ア 常設のつどいの場の提供

イ 子育てに関する相談援助

ウ 子育て関連情報の提供

エ 子育て等に関する講習会の開催 年 48 回

利用者数 20,251 人（大人 9,941 人 幼児 10,310 人）

6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（平成22年度は、7回にわたり34名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

(2) 来日原爆被爆者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被爆者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被爆者への援助を引き続き行った。

7 平成22年研究業績

(1) 学会発表（「第51回原子爆弾後障害研究会」除く）

第53回日本糖尿病学会年次学術集会（5月27～29日、岡山市）

- ・吉良さくらこ、入江三枝子、福島徳子、前田亮、佐々木英夫、伊藤千賀子：尿中マイクロアルブミンおよび尿中IV型コラーゲンの臨床的意義 ―CVD 予知マーカーとして―
- ・福島徳子、亀島佑佳、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、佐々木英夫、村上文代、伊藤千賀子：当センターで行った企業健診における特定保健指導の現状と成果

International Conference on Alzheimer disease（7月10日、ホノルル）

- ・Yamada M, Kasagi F, Mimori Y, Miyachi T, Ohshita T and Sasaki H : Grip strength as a predictor of Mortality and dementia : Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study.

第65回日本体力医学会大会（9月16～18日、千葉市）

- ・入江三枝子、佐々木英夫：当センターで行った特定保健指導の現状と成果

第36回日本磁気共鳴医学会総会（10月1日、つくば市）

- ・田村隆行、村上 茂、笛吹修治、横町紀子、吉川健、山田圭紀、内藤久美子、秋山實利：乳腺MRIルーチン撮像後、背臥位遅延造影相での腫瘍描出能の検討

日本糖尿病学会中国四国地方会 第48回総会（10月29～30日、松山市）

- ・柚園直美：血漿血糖測定値におよぼす採血後時間の影響について
- ・福島徳子、亀島佑佳、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、佐々木英夫、村上文代、伊藤千賀子：飲酒量別にみた栄養摂取状況及び諸種臨床検査成績の比較

日本臨床スポーツ医学会（11月17日、筑波市）

- ・佐々木英夫：広島県における国体前のメディカルチェック

平成22年度全国健康増進施設研究会（11月27日、京都市）

- ・福島徳子、亀島佑佳、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、佐々木英夫：飲酒量別にみた栄養摂取状況及び諸種臨床検査成績の比較
- ・亀島佑佳、福島徳子、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、佐々木英夫：糖尿病一次予防を目的とした個人指導の成果及び集団指導の試み

第33回サンアントニオ乳癌シンポジウム（12月9日、サンアントニオ）

- ・田村隆行、村上 茂、笛吹修治、有広光司、内藤久美子、秋山實利：Characterization of the breast lesions by biexponential signal attenuation analysis of Diffusion -Weighted Magnetic Resonance Images.

(2) 講演会等

健康運動指導士養成研修会（1月19日、広島市）

- ・佐々木英夫：生活習慣病 肥満症(1)、肥満症(2)

山口乳腺画像研究会（2月6日、山口市）

- ・田村隆行：乳腺MRIの基礎

第5回広島県西部地区胃研究会（2月12日、広島市）

- ・品川祐樹：動画で振り返りたい、胃癌と透視観察

県ジュニア合宿（中高校生）での講習会（2月19日、広島市）

- ・福島徳子：食事バランスガイド（スポーツ選手）

ヘルスサポーター養成講座での講習会（2月21日、広島市）

- ・入江三枝子：生活習慣病予防の基礎知識 ―運動―

第 6 回広島県西部地区胃研究会（3 月 26 日、広島市）

- ・品川祐樹：透視動画の所見チェック

第 63 回広島 MR 撮像研究会（3 月 19 日、東広島市）

- ・田村隆行：基礎講座 7 スライス選択

広島大学大学院医歯薬学総合研究科・保健学研究科「予防医学・健康指導特論 I」（5 月 12 日、広島市）

- ・佐々木英夫：健診制度・個人情報保護、健診・保健指導の理念

第 7 回広島県西部地区胃透視勉強会（5 月 17 日、広島市）

- ・田村隆行：腸に流さないテクニック

中国電力研修会（5 月 21 日、広島市）

- ・佐々木英夫：ドーピングコントロールの現状と注意点

日本陸上競技連盟全国医務部長会議（6 月 13 日、東京）

- ・佐々木英夫：心臓検診のポイント ―成人―

第 2 回山口 Gyromeeeting（7 月 3 日、山口市）

- ・田村隆行：SENSE の原理と腹部領域での応用

広島サマースクール講演（8 月 17 日、広島市）

- ・佐々木英夫：原爆被爆者の健康管理と疾病予防

安佐北区原爆被爆者研修会（8 月 27 日、広島市）

- ・佐々木英夫：放射線による身体的障害（起こりうる疾病と治療法について）

JICA「生活習慣病予防対策」研修コース（8 月 31 日、広島市）

- ・佐々木英夫：生活習慣病の予防

第 72 回福山 MRI 勉強会（9 月 15 日、福山市）

- ・田村隆行：乳腺 MRI の基礎

第 65 回広島 MR 撮像研究会（9 月 17 日、東広島市）

- ・田村隆行：基礎講座 8 フーリエ変換

日立 DR 研究会 IN 岡山（10 月 23 日、岡山市）

- ・品川祐樹：胃集検における病変発見のコツ

平成 22 年度山口県被爆者総合相談会（11 月 26 日、山口市）

- ・佐々木英夫：被爆者の健康管理について

第 10 回広島県西部地区胃研究会（11 月 26 日、広島市）

- ・品川祐樹：胃集検における病変発見のコツ

広島県行政書士会研修会（12 月 4 日、広島市）

- ・田村隆行：MRI とは

(3) 論文

- ・佐々木英夫：予防医療最前線：行動変容のすすめ．カレントひろしま 291：30-31, 2010.
- ・佐々木英夫：予防医療最前線：どの位運動すればいいの？ ―運動基準・指針の使い方―．カレントひろしま 295：30-31, 2010.
- ・小泉大亮、佐々木英夫、入江三枝子、彦坂愛子、楠 正暢、竹島伸生：加速度計付歩数計を用いた身体活動量向上への取り組み ―活動量と強度調節の有用性．Research papers of the Suzuken Memorial Foundation 27：81-85, 2010.
- ・佐々木英夫：原爆障害対策協議会と原爆後障害研究．広島医学 63 (4)：241-243. 2010.
- ・石田 啓、臺 直美、佐々木敦紀、井上典子、加藤博也、内藤久美子、吉良さくらこ、前田 亮、

- 佐々木英夫：被爆者健診における前立腺特異抗原（PSA）値と F/T 比の検討．広島医学 63（4）：289-292. 2010.
- ・ 臺 直美、吉良さくらこ、佐々木敦紀、石田 啓、井上典子、加藤博也、内藤久美子、前田 亮、佐々木英夫：原爆被爆と甲状腺機能低下の関連．広島医学 63（4）：300-303. 2010.
 - ・ 佐々木英夫：(財)広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センターについて．広仁会報 78：78-80, 2010.
 - ・ Tobina Takuro, Michishita Ryoma, Yamasawa Fumihito, Zhang Bo, Sasaki Hideo, Tanaka Hiroaki, Kiyonaga Akira : Association between the angiotensin I-converting enzyme gene insertion/deletion polymorphism and endurance running speed in Japanese runners. J Physiol Sci 60（5）：325-330, 2010.
 - ・ Rachel Cooper, Diana Kuh, Rebecca Hardy, on behalf of the FALCon and HALCyon study teams : Objectively measured physical capability levels and mortality : systemic review and meta-analysis. BMJ 341 : c4467 : 1-12, 2010.
 - ・ 佐々木英夫：スポーツ医・科学委員会の活動．(財)広島県体育協会編．平成 21 年度広島県スポーツ年鑑．2010.
 - ・ 佐々木英夫ら：ドーピングコントロール便利帳（改訂版）．(財)広島県体育協会編．2010.
 - ・ 佐々木英夫：原爆被爆者健診の現状と課題．長崎医学会雑誌 85：174-180. 2010.
 - ・ 吉良さくらこ、平岡佐知子、佐々木敦紀、石田 啓、井上典子、加藤博也、前田 亮、内藤久美子、佐々木英夫：被爆者健康診断における C 型肝炎検査についての検討．長崎医学会雑誌 85：287-291. 2010.
 - ・ 平岡佐知子、佐々木敦紀、石田 啓、井上典子、加藤博也、内藤久美子、吉良さくらこ、前田 亮、佐々木英夫：被爆者における大腸がん検診成績（第 7 報）．長崎医学会雑誌 85：278-281. 2010.
 - ・ 田村隆行、笛吹修治、秋山實利：拡散強調画像の biexponential 信号減衰曲線から fast, slow component の ADC と存在比を求める際の正確性 ―ファントム実験―．日本磁気共鳴医学会雑誌 30（1）：1-9, 2010.
 - ・ Tamura Takayuki, Usui Shuji, Murakami Shigeru, Arihiro Koji, Akiyama Yuji, Naito Kumiko, Akiyama Mitoshi : Biexponential signal attenuation analysis of diffusion-weighted imaging of breast. Magn Reson Med Sci Vol 9（4）：195-207, 2010.
 - ・ 入江三枝子：予防医療最前線：自分の目的に合った運動を選んでいますか？．カレントひろしま 297：28-29, 2010.
 - ・ 入江三枝子：予防医療最前線：今、注目のレジスタンストレーニング．カレントひろしま 299：22-23, 2010.
 - ・ 福島徳子：スポーツと食事 けがの予防・回復のための食事のポイント．ウイング 59：10, 2010.
 - ・ 福島徳子：スポーツと食事 スポーツサプリメントの効果的な活用法．ウイング 60：10, 2010.
 - ・ 福島徳子：スポーツと食育 こども編．ウイング 61：10, 2010.
 - ・ 福島徳子：スポーツと食育 こども編パート 2．ウイング 62：8, 2010.
 - ・ 福島徳子：予防医療最前線：何をどれだけ食べたらいいの？ 食事バランスガイドであなたの食事をチェック．カレントひろしま 301：34-35, 2010.

Ⅶ 資 料

1 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールドターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールドターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールドターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールドターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールドターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールドターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールドターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置 (更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置 (更新)	10,263,235	4,028,235
合 計		1,521,002,235	713,339,235

2 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

3 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

4 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		411,917,521	101,303,000

5 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		458,799,521	119,673,520

6 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
合計	49,540,000	19,465,491	69,005,491

7 全国から寄せられた寄付金

(資料6再掲、敬称略)

年 度	合 計 金 額	件 数	寄 付 者 氏 名
昭和 29	239,486 円	39 件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攪, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ピカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804 円	38 件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外 24 名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34 名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819 円	98 件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨木県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年D組ひらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684 円	21 件	大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316 円	50 件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会, 東町連合子供クラブ一同,

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
34	575,892 円	32 件	川崎市東芝○附工, 段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三, 野口あき, 東京電気大学○○学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・○川○○, 屋代小・中学校・戸倉中学校, 匿名, 広島県○○○・吉本勝・浜田カヨ子, 山田千恵子, 高橋昭博, 杉渕徳治, 山田千恵子, 河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年○組, ○尾富美子, 浜田加代子, 土肥邦雄, 三村典子, 松下和義丸本杏男, 山田千恵子, 日本むつみ会, 山田千恵子, 奈良県一○人, 山田千恵子, 吉岡隆夫, 神戸市親和高校グループ, 日本むつみ会老生, 山田千恵子, 金沢兼之助, 東京福祉協会理事小祝昌弘, 四人の女月光仮面, 一読者, 愛知トマト KK 他 7 社, 日本むつみ会老生, (匿名), 大阪一女性, 匿名者, 田口正治, グレチエン・タットヒル, 古賀和紀, グレチエン・タットヒル, 金光教群馬県西部連合会, 藤村弘, 全日労組合広島地方会議組合員, 篠村つる子, 香川県千羽鶴運動実行委員会, イタリア生, (匿名), 浦辺和美外三名, 徳竹道生外一名
35	78,957 円	17 件	広島予研支所匿名, 広島予研支所匿名, アーサー・マリー・アイビンダー, 赤松鉄也, 赤松鉄也, 匿名, 篠村つる子・金子健次郎, 大阪 K.E.氏, 匿名, 匿名, 山田千恵子, 山田千恵子, 森新一, 山田千恵子, 原水爆禁止大川市協議会長古賀清治, 広島県競輪選手会
36	1,935,402 円	30 件	紺野光吉, 紺野光吉, 日本原水爆被災者救援協会代表富井令子, 石田久子, 山田キク, 関つる, 山蔭貫之, 関つる, 紺野光吉, 日本電装労働組合, ルイス・カヴレル, 匿名, 匿名 2 名, 全大丸労働組合神戸支部, 全国財務労働組合, 紺野光吉, 原田東岷, 安佐郡長束地区婦人会会長原田静枝, 寺本典夫, 佐藤富子, 土井憲策, 山崎君子, 愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同, 石川県立工業高等学校デザイン科有志, 紺野光吉, 原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング, 紺野光吉, 柿原幸二, 小崎芳子, 紺野光吉
37	140,129 円	19 件	紺野光吉・無名氏, 三次中学校, 三次町本通一子供会, 紺野光吉・匿名, 山田千恵子, 小川亀三, 日○一社員外三氏匿名, 紺野光吉・m.y., 清水芳郎, 駒込学園一同, 呉造船労組宮原地区家族会, 日本司法書士会連合会総会出席者, 東大教育学部高校一年 A 組, 板木節夫, 藤田正行, 河原卓一, 安永茂雄, 日下部春一, 岩滝宗雄
38	210,638 円	23 件	神戸市育英高等学校一年十組, 中村勝弥, 奥田光太郎, 空調タイムス社代表取締役杉本英太郎, 大歳盛明, 志村寛一, ノートルダム清心高等学校三年生一同, 山田千恵子, 山田千恵子, 徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫, 般若太郎外七口, 岡本稔雄・吉田町役場職員組合, 村上春雄, ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団, 日本高等学校教職員組合, 中川シゲノ, 山口親愛教会 S 氏, (匿名), 本間妙海, 匿名, 村上和輝, 日赤東京都支部寄託, 読売新聞社寄託
39	196,179 円	18 件	読売新聞社寄託 2 名, 日赤東京都支部寄託, 匿名, 山田千恵子, 中国新聞社会事業団寄託, 政治経済研究会代表番匠朝昭, 日本高等学校教職員組合代表磯本達則, 中国新聞社会事業団寄託, 土手和海外二名, 原水爆禁止門○市協議会会長東重太郎, 金沢なでしこ会三人, 金光教広島県連合会外二件, 岐阜県立中津高等学校職員二学年一同, 黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同, 福島県石川実務学園長外三ヶ所, 朝日新聞山口支局寄託, 石川県立金沢高等学校二四ホーム一同, 大○七
40	485,027 円	23 件	神戸新聞厚生事業団寄託, 石川県金沢高等学校修学旅行団, パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻, 中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同, ○生製作所労組, 渋谷区代々木善明会教団, 全国自動車産業労働組合連合会東海支部, 山形県 16 歳学生, 中島マチ, 豊島区 S.K, こばやし, 塚本利光, 大豊○樹, 尾川昭外七ヶ所, 比和中学校福田部落会生徒, キリンビール労働組合広島工場支部長○○永○○, 松岡洋子・岡本・玉置せき, 東京電気大学高校普通科二年生一同, 日本大学豊山学園友輪会, 豊橋市時○○高校二年一組一同, 豊川地方労働組合, ○田照夫, 石本タケノ
41	415,603 円	18 件	喫茶ガーネット・小池静子外二名, 県内に住む一女性, 三宅千代子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則, 善明会教団東京支部, セント・ジェルジ博士, 右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名, 東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒○○○キリスト○○, 大阪市旅行クラブ「浪花会」, 国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージーランド委員会, 吉田達雄, 安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同, 土井憲作, 南千田ヘルスセンター, 山本雅子, 矢沢一民, 旧普通科神○高等学校一年三組,
42	503,278 円	21 件	川上ナルエ, 堤健一郎, 徳原スミ子, 飯田商店外二者, 杉山博康, 小松修, 神戸外大二部原水禁実行委員会一同, 片山茂樹, 法眼○外五件, 三次市栗原町婦人会外二件, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円, 読売新聞社寄託, 金洞海, 山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同, 奈良県青龍寺小西妙淳, 全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合, フランス人シャンボイゼ,

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
43	451,958 円	20 件	新田修三, 関川守彦, 下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校 日本高等学校教職員組合, 長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武, 日本火薬福山工場ダンス同好会一同, 本田英郎, 日本高等学校教職員組合, 大口あさを, 金井政吉, 姫路市匿名, 舟入本町商店街, 広島市の者, 藤井音次郎, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓, 沖一成, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合, 東海大学原子力教室, ビクターオート(株)広島営業所, 酒井幸四郎, 藤井音次郎, 藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 藤井音次郎, 水木ナツ, 藤井音次郎, 小島静江, 金井政吉, 入田律子, 舟入本通会, 一老人, 田中茂, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 桂雄一, 徳山市蟻の会代表水木敏郎, 鈴川寅二, ヒロスイ株式会社員加賀愛万・下岡好一・西村浩, 鯉城クラブ, 藤井音次郎, 大園英彦, 藤井音次郎, 小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎, 友広和夫, 一匿名者, 一匿名者, 金井政吉, 匿名の一少女, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 藤井音次郎, 神戸市職青年部神戸市革合区役所・神戸市生田区役所有志, 堀内登久子, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 匿名者, 湧井雅晴, 小西清, 高田和典, 法政大学女子高校1年F組, 岩室久一, 横光利之, 苫小牧西高等学校新聞局, 明大附属中野中学校2年生, 藤井音次郎, 一市民, 狩野重治, 藤井音次郎, 岡野チヨノ, 八木千代, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎, 藤井音次郎, 金井政吉, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 柴崎英治, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 三重県立紀南高等学校修学旅行団一同, 藤井音次郎, 今田稔穂, 広島木工製材機械協会, 森崎律子, 藤井音次郎, 広島市匿名氏, 安佐ボール社長武智義則, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子, 藤井音次郎, 松川宣正, 松川宣正, 広島市 Y 子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店長小野敏次, 広島市無名氏, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 新谷五郎, 松坂次男, 藤井音次郎, 原田東岷, 飯田昭二, 藤井音次郎, エア・ポートレーン支配人登勝志, 広島市民無名氏, 福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴, 岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良, 藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一, 藤井音次郎, 大高美代, 岡儀造, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次, 原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平, 藤井音次郎他, 藤井音次郎, 岡正造, 藤井音次郎, 甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹, 藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ, 足門ミドリ, 日本高等学校教職員組合, 広島市内原爆被爆者, 原水爆禁止十日町市協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎, 奥野ワカヨ, 広島市原爆被爆者, 市山律子, 上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治, 乙井ミツエ, 愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典, 広島市民被爆無名者, 広島第一劇場代表取締役吉田尚行, 広島木工製材機械協会会長金子堅一, 西部浩子, 日本高等学校教職員組合, 関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫, 初倉利明, 西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄, 河野和夫, 日本高等学校教職員組合, 長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子, 松上年雄, 広島木工製材機械協会, 東京の一学生, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫, 清水由紀子, 高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作, 浜井澄人, 山口能弘, 荒木邦男, 山田春三, 府中農協病院植田繁男, 川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 森崎利樹, 藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子, 山口大学平和キャラバン隊, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信, 山口大学ユネスコクラブ第12回平和キャラバン隊, 花田実男, 栃木県鳥山女子高等学校三年一組一同, 大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合

8 核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機 6 台、ラジオ 1 台	292,000
46	カラーテレビ 1 台、長イス 11 脚	237,000
47	フィルム保管庫 5 台	125,000
49	フィルム格納庫 9 台	251,000
50	スロンブエラストグラフ 1 台、毛糸編機 4 台	1,750,000
52	顕微鏡 1 台、毛糸編機 3 台	442,000
53	胃カメラ 1 台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ 1 台	1,300,000
55	眼底カメラ 1 式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ 1 台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ 1 台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ 1 台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ 1 台	1,115,000
60	オートプロジェクター 1 台、内視鏡格納棚 1 台、吸引器 1 台	915,000
61	ガストロファイバースコープ 1 台	1,300,000
62	顕微鏡 2 台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡 1 台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡 1 組、パルスオキシメーター 1 台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ 1 台、ゼリーウォーマー 1 台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
合 計		31,763,431

※ ただし、平成 6 年度以降は、核兵器禁止平和建設国民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

9 日本労働組合総連合会広島県連合会

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
合 計		7,518,231

10 職員

(平成 23 年 7 月 1 日現在)

課・科・室名		職 名	氏 名
事務局		事務局長	木下 吾朗
		次長	金子 絹明
		次長	横山 耕二
	総務課	課長	三好 保
	経理課	(事)課長	横山 耕二
	健康管理課	課長	大島 博美
	資料調査室	(兼)室長	三好 保
健康管理センター		所長	佐々木英夫
		部長	吉良さくらこ
		副部長	足免 弘章
	受付課	課長	森脇 景子
	一般健診科	(事)科長	吉良さくらこ
	精密健診科	科長	川西 昌弘
	がん検診科	科長	加藤 博也
	放射線科	科長	内藤久美子
		技師長	松島 文昭
	検査科	(事)技師長	足免 弘章
	看護科	看護師長	斎藤 恵子
健康増進センター		(兼)所長	佐々木英夫
	健康増進科	科長	井上 典子
健康科学館		館長	岡本 和之
	管理課	(事)課長	岡本 和之
	教育課	課長	植田 智子

事業概要 平成 23 年版（2011 年）

財団法人 広島原爆障害対策協議会
（略称：広島原対協）

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451 (代表)
FAX 082-241-0414
URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
